## R5年度 佐賀大学教育学部附属中学校 第一学年 単元配列表

\/ !!!!		77. 110	, HD	\/ \  \  \	77. 110	77. UD					//· UD	_ /	<i>–</i> / J	
前期/中期/後期    前期/中期/後期	中期後期前期中期	後期   前	「期 中期 後期 「京ので記す	<u>前期</u> 中期	後期   前期 中期	後期   前期   中期   後:	期前期	中期 後期    後期	前期中期	後期 前期 中期 	後期	前期中期後期	前期中期	<u>後期</u> 前期 中期
国語	他己紹介 授業びらき 「話を聞いて質問しよう」	要旨を捉える 「オオカミを見る目」	ブログ記事 「星の花が降るこ			古典に親しむ 「伊曽保物語」「竹取物語」「矛盾」など	「言葉を	レーダーチャート もつ鳥、シジュウカラ」など	物語に贈る短歌「少年の日の思い出」	レポート 「根拠を明確にして書こう」	冬季課題	メディア・リテラシー 「ニュースの見方を考えよう」	グループ・ディスカッション 「話し合いで理解を深めよう」	エッセイ 「心に残る出来事を表現しよう」
思考操作	関連付ける	関連付ける	関連付ける		具体化する・抽象化する	比較する/推論する		る/多面的・多角的にみる	比較する/関連付ける	関連付ける・構造化する	具体化する・抽象化する	比較する	具体化する・抽象化する	比較する
	1年間で学習する漢字や語 相手の良さついて、相手の情報や応答と 彙、文法、文章などについ インタビュアーが弱わたいことを関連付 本文の内容につい	って、段落の役割や段落どうしの関 <sup>を</sup>	関係に着目		日常生活の中で感じたことについて、語彙や表現技	支 古人のものの見方や考え方について、過去と現代の共通点や相違点に	に着目 説明文の良し悪し	,について、事実と意見の関係性や文章	章 物語の内容について各場面に着目し、登	登場人物の心 日常生活の中の題材について、語彙や言葉流	遣 日常生活の中で感じたことにつ	同じ題材の記事について、内容や叙述量などを比	戦   <sup>                                   </sup>	に残る出来事について、随筆の言葉遣いや表現の特徴
資質·能力		文字数条件を関連付けて、要旨を	表現の効果について、場面と場面や と捉えるこ 関連付けて、解釈を深めることがで		法に着目し、目的や条件と関連付けながら、具体的あるいは抽象的に書くことができる。	り し、比較したり推論したりしながら、物語の世界を感じたり想像した ことができる。		開、文末表現に着目し、2つの説明文 :観点から評価することができる。	てを 情や言動、情景を関連付けて、解釈を深 できる	依拠を明確に示して日分の考えが伝わる又写	し、目的や条件と関連付けなか う、具体的あるいは抽象的に書	して、ニュースの見方について自分の考えをもつ ができる	こと て、話の構成に着目し、具体例を示しながら に着 話の中心を明確にして、分かりやすく話すこ 徴き	自日し、生活作文や日記などと比較しなから随事の特 を理解し、読み手の印象に残るように書くことができ
	ができる。とができる。				めるいは抽象的に音くことができる。					を書くことができる。	くことができる。	かできる。	とができる。 る。	
社会	「世界と日本の地域構成」 「人々の生活と現	環境」	「古代国家の成立とす	東アジア」	夏季課題	世界の諸地域「アジア州」「アフリカ州」		「武家政権の成長と東	東アジア」 世界	界の諸地域「ヨーロッパ州」「北アメリカ	冬季課題	「大航海によって結び付く世 「戦乱から全国統一へ」		アメリカ州」 世界の中の日本として、地球規模の課 2アニア州」 題に私たちはどのように取り組むか
思考操作	多面的・多角的に見る 比較する		 関連付ける	)	具体化する・抽象化する	多面的・多角的に見る		 関連付ける	711_	      関連付ける	具体化する	比較する	多面的・多角的	
	世界と日本の地域構成について、位置や 分布などに着目して捉え、地域構成の特 世界の様々な地域について、第	気候や衣食住など 日本の	の律令国家に至るまでの過程を、	、中国を中心とした東アジ	>	発展途上国の経済発展について、地理、資源、環境問題などに	着目して「武家政権がな		りいて 当時の状況 墓府のしくみ 移見	民による社会の変化について、各地域の歴史		織田信長と豊臣秀吉の統一事業について、大名の	統制、経済、宗教と	夏について、資料 自分で設定したパフォーマンス課題につ
資質·能力	徴を多面的・多角的に考察し、資料の特 各地域の特徴に着目して捉え、	それぞれの地域アの国	国々との関りに着目して捉え、	その関係を明らかにしなが	<b>\</b>	捉え、他者の意見を聞きながら、その理由の妥当性や効果につい			トて考察し、級友と話し合いなが   間々	な背景に着目して捉え、二つの州が抱える課 と関連付けながら考え、自分の考えを書くこ		の関りなどに着目して捉え、それぞれの政策を比	較し、その特色につい」をもとに経済、貿易、格	A差など多面的・ いて、学習したことを振り返り、現在の 公行い、よりより 状況と関連付けて考え、自分なりの結論
	性を踏まえて地図上の位置や距離等を表 現することができる。 を比較しながら説明することが現することができる。	ができる。 ら関連	重付けて、説明することができ	る。		面的・多角的に考察することができる。	ら、自分なりの	D根拠を明確にすることができる		ができる。		て説明することができる。		だができる。を出すことができる。
 数学   オリエン	ン 正の数・負の数		文	字の式	夏季課題	方程式		変化と対応		平面図形	冬季課題	空間図形		<b>資料の活用</b>
思考操作	具体化・抽象化する 推論する	<u>ح</u>		。		具体化する・抽象化する 関連付ける・構造化する	Z	具体化する・抽象化する		具体化する・抽象化する 推論する		比較する 関連付ける・構造化する		とする多面的・多角的に見る
心气採作			<b>会々に増える米粒の総数の求め方に</b>		て 日常生活や社会で感じた疑問を数学の力を活用して解決し	+_	少品の変化の			会体化りる・抽象化りる 推論する 先端が描く曲線の長さについて、描かれる曲線の外形、糸が巻	£ #			
資質・能力	2数の最大公約数・最小公倍数の求め方について、連除法、素因数分解の を正方形に分割する図を用いた解釈を活用し考察することによって、さら		、長万形 捉え、数量化及びその関係性を一般 導くこと	<b>分化しようと代数的に考察することによ</b>	っり、数学の学びを発展させて新たな数理的課題を探究した	-   万程式を使った問題の解决について、数重の関係性、解の吟味の必要 :り   -   に着目して捉え、抽象化し、解の意味を適切に解釈しながら考察する	安性など     関係性などに着目	して捉え、2数の関係性を理想化及び	び一般化しようと考察することによって、 付け	られている多角形の形及びおうぎ形の中心角の大きさなどに着	目	数、頂点に集まる面の数、へこみなどに着目して捉え、特殊化し	た。 佐賀県のフーメンの価格帯について、隣 、類  着目して捉え、記号化及び抽象化し、個	階級及びその個数、階級値、度数、相対度数などに 面格帯の分布の様子を多角的に考察することによっ
	ができる。		て、 n 枚目の米粒の数及ひ n 枚目ま る。	までの米粒の総数を式化することができ	する中で、気づいたことやわかったこと、自らの解決の方 などをレポートにまとめる。	法 よって、方程式を使って問題を解く手順をまとめることができる。	投映画面をスクリ を推測することか			捉え、数量化及びその関係性を一般化しようと考察することに て、曲線の長さの求め方の一般式を導くことができる。		似点及び相違点を明らかにしょうと考察することによって、それ 共通性を抽象し、定義としてまとめることができる。	て、その特徴を表またはグラフに表現す	
TCT イ\					—————————————————————————————————————						6 <del>1</del> = 11 15			
里科 	「身近な生物の観察」 「植物のなかま		「動物のなかま」	「いろいろな物質」	夏季課題	「気体の発生と性質」	「物質の状態変化」	「水溶液」	「光の性質」	音の性質」 「力のはたらき」	冬季課題	「火山」	「地震」    「地層」	「大地の変動」
思考操作	関連付ける・構造化する 比較する・分類	する	比較する・分類する	多面的・多角的に見る	具体化する・抽象化する	関連付ける	推論する 夜体⇄固体の状態変化や「エタノー	関連付ける	多面的・多角的に見る	関連付ける 推論する 関連付ける	具体化する・抽象化する	比較する 関 「火山の形」について、マグマの粘りけ	関連付ける 構造化す	<sup>-</sup> る 関連付ける
	学校の周辺に生活している生物の観察を行い、環境によって生育する植物の種類や生育根や葉のつくりについて、葉や根の	つくりの共通点や相カタクチ	イワシ,シバエビ,ホタルイカの干物を観察	5種類の白い粉末を見分ける方法につて、物質の性質の違いに着目すること		水素やアンモニア、窒素などの気体の発生方法や捕集方法に <sup>ル」の液体</sup>	≓気体の状態変化について,粒子モデ	「再結晶」の実験について、溶解度とその温	「光の屈折」について、入射角と屈折角の大         温       きさに着目することで、複数の実験結果から	ばねに加わる力とばねの伸びの関係の実験に で はあいた。	L	と噴火活動の様子の違いに着目すること	「」について,P波とS波の 地層の重なり方や広がり を発に着目することで,地 状図の高さや傾きの方位	プレ善日すること の深さと位置に善日することで 日本付
資質・能力	い、環境によって生育する植物の種類や生育 はて来のラマッに ういて、来で祝る 状況に相違があることに着目することで、生 違点に着目することで、双子葉類と 物の生活を自然環境と関連付けて説明でき 様々な植物を分類することができる	単子某類を比較して 。し, それ。を見出す	lぞれを比較し分類することで,共連点や相違。 ことができる。	京で、実験計画を多面的・多角的に考え、 案することができる。		ついて,気体の種類による特性に着目することで,それぞれ の気体の集め方と関連付けて説明できる。	するが質量は変化しないこと, また, 質の状態が変わるだけで, 物質そのも	                 	と   多面的に考え、人射角と屈折角の規則性を見   ことで、 が遅れ いだし、根拠を示しながら適切に説明でき   説明で	でででででででででででででででででででででででででである。 て 直線のグラフで正確に表し、規則性を見いて はることと関連付けて だすことで、ばねに加わる力とばねの伸びの できる。	ク	で、玄武岩質マグマと流紋岩質マグマを	) 距離や揺れの大きさと関 で、その地層の重なり方	が広がり方につ 近の震源の分布の特徴とプレートの動き が説明できる。 を関連付けて説明できる。
	る。   					のは変化しな	ないことを推論し説明できる。		<b>ప</b> ం	関係を捉えることができる。		る。		
英語	自己紹介をしよう。また身近な人について紹介 し、互いのことをもっと知ろう。 フターを作ろう。 スターを作ろう。	、グループで協力しながらポクラスの友達	達にアンケート調査し、結果をグラフにまとめ報告しよう。	最近体験したことについて話そう	夏季課題	友達の紹介スピーチをしよう	理由を付けて自分の考	えを説明しよう	実况レポートしよう	的な問題や地域の問題について、ポスターを作ってクラスメートにメ ジを伝えよう。	冬季課題	「冬休みの思い出についてディスカッションを	しよう」 「附属中・	で過ごしたはじめての一年間について振り返ろう」
思考操作	関連付ける・構造化する 具体化する・抽象	化する	比較する	関連付ける・構造化する	具体化する・抽象化する	関連付ける・構造化する	比	<b></b> 交する	推論する	具体化する・抽象化する	具体化する・抽象化する	関連付ける・構造化する		多面的・多角的にみる
	自分が普段することやできること、身近な人 や物について友達に紹介する場面において、おいて、リック先生へのインタビューから	鼻られた情報から伝えたい <b>★</b>   友達が好き	きなものを調査し「好きな〇〇ランキング」として、クラ	週末の出来事を先生や友達に説明する場面に おいて、マッピングを通して「関連付けた		友達や家族の習慣や趣味について、「私だけが知っている〇〇の習慣・秘密」と題		<ul><li>どちらがよいか友達に</li><li>実社会や実生活とのつ 世界の子どもや動物</li></ul>		的な問題や地域の問題に関してポスターセッションをする場面 て、実社会や実生活とのつながりや、社会への貢献・参画意識		冬休みの思い出について、友達に紹介する場面において、マッヒ り、構造化したりししながら、一貫性と結束性を喜め、関き手に		
資質・能力	適切な言語材料を活用し、思考・判断して情 内容や伝えるための英語表現をグループで記載を整理することで、聞き手にわかりやすく 抽象化」しながらポスターを制作することで	選択・決定し、「具体化・ で、読み手にわかりやすく」をグラフに	召介する場面において、クラス全員にインタビューし、結 こまとめ、様々な見解を評価・選択し、自分の考えと「比 ぶ、 老窓」、お生せるると	吉果 り・構造化したり」しながら、一貫性と結う 性を高め、聞き手にわかりやすくスピーチョ	東	スメイトに紹介する場面において、マッピングを通して「関連付けたり・構造化しながら、一貫性と結束性を高め、聞き手にわかりやすくスピーチすること。	したり」し ながりを意識しなが		こおいて、適切な言語材料を活用し、思考・判断し 着目	しテーマを設定し、調べた情報を「具体化・抽象化」しながら ーを制作し、伝達ストラテジーを用いることで、聞き手にわか	っポ	こと。聞き手は思考の方の特徴に着目し、相手のスピーチを整理	型しながら聞き、情報の穴を の中から適切な言語材料を過	づきや体験に着目し、「多面的・多角的」に振り返り、既習表現 選択したり、一貫性と結束性を高めるパラグラフライティングを
	スピーチすること。 伝えること。	較」しなが	がら、考察し、報告すること。	ること。			すること。			く伝えること。		埋めるような質問をすること。	したりすることで、クラス>	メイトにわかりやすく伝えること。
TRAIN	E-Time①					E-Time(2)	E-T	me3						
(E-Time)	仲間づくり学習会					職業人に学ぶ	女化.	発表会						
				D T:										
TRAIN	B-Time B-Time①		B-Time2	B-Hime(3)   記録する					B-time4				B-time 5	
(B-Time)	ポリエン 振り返りをす テーション る、話し合う		図解表現する	要占を間く	•				報告する				鑑賞する	
TDAINI		C-Tir	ime(1)	C-Time(2)	`	C-Time(4)		C-Time(5)		C-Time(6)		C-Time(7)	C-Time(8)	
(C-Time)	C-Timeオリエンテーショ	研究テート	マを決める リサー	-チクエスチョンを決定する	仮説を立てる	研究手法を考え、計画を立てる	訂	  査・実験を実施する	結果を	をまとめ、考察し、結論を導く	冬季課題	発表内容を発表する	振り返りをする	
思考操作		具体化	化する ふについて, キーワード 研究テーマに	多面的・多角的に見る		関連付ける		具体化する		比較する	具体化する・抽象化する	具体化する	関連付ける	
		現在の自分の興味・関心   まもとに情報を集めたり	ふについて,キーワード   研究アーマに り,思考ツールを用いて   術分野の先行	- 関する「同い」をこれまでの子 - 研究・事例や対象や地域、状況	光行研究・事例等を関連付けた	リ III ユエ	イ b ー フ イ ・ 、	サナナフなこナゴ ノナ よの	調査・実験から	得られた情報を,仮説と有機的に		これまでの研究内容や研究の意	義などを, 聞 1年間の探究活動を振り 返り、どのような力がつ	
資質・能力		研究テーマに関する知識	戦を広げたり、整理した など多面的・	・多角的な視点から検証し、リ	サーチクエスチョンに対する仮	フ リサーチクエスチョンに対する仮説を立証する 大 ために必要な情報と関連付けた最適な調査・実 行い,	- ナクエスナョンに	対する合えを導くための    海に広じてファイルめに	調査・美験を 若び付け、他の	類似した事象や相反する事象と比		き手や読み手に最も分かりやす	く伝えるためいたか、自己の生き方とどのように関連付けるこ	
質質・能力		- 1りしなから、目分の研究	パのイメーンを具体化。 コサーナクエノ	ムナョンを弁供させ 日分(/)(世名				実に心してノアイルつし	で具体化して較するなどして	論理的に分析し,リサーチクエス		に,発表内容を具体化したり,	発表方法や発 とができたか等をまと め、次年度の研究に向け	
		し、解決の見通しをもつ 題を設定すること。	つことのできる適切な課   の意義や今後	<b>炎の研究の道筋を自分なりに見出</b>	出りなが、放説を検証するための 出切な方法を導き出すこと。	亩(1)	けること。		チョンに対する	<b>答えを道くこと</b>		表態度を探究したりすること。	て見通しをもつことがで	
		歴で以たりること。	I d , * F							ロんでサイCC。			さる。	
		運動会を成功させよ		なぜ、わたしたちは学ぶのだろう?						「学級活動 思いやりの気持ちを習	<u> </u>		さる。	「学級活動 1年間を振り返ろう
特別活動	「学級活動」学級目標を決めよう」	(運動会を成功させよ う」		なぜ、わたしたちは学ぶのだろう? ま、わたしたちが学ぶこと」		「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」	「学級活動	動 文化発表会を成功させよう」	「学級活動・中学校卒業後の自分を考	「学級活動 思いやりの気持ちを習	<sup>育</sup> 冬季課題	「学級活動自分を見つめ直そう」	「学級活動 将来の自分を考え。	「学級活動 1年間を振り返ろう よう」 2年生になる自分」
特別活動思考操作	「字級活動」字級目標を決めよっ」   関連付ける・構造化する   関連付け	う」 る・構造化する 多[	動自分を知る反たちを知る」 い 面的・多角的にみる	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する	夏季課題 具体化する・抽象化する			動 文化発表会を成功させよう」 具体化する・抽象化する		「学級活動 思いやりの気持ちをす てよう」	今季課題	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる	多面的・多角的にみる	2年生になる自分」 多面的・多角的にみる
	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者の	う」 「字級活動 る・構造化する 多記 個性を理解し、そ 友達の意	朝 自分を知る及たちを知る」 い 面的・多角的にみる	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に	夏季課題 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義な	をとらえ 文化発表会を成	具体化する・抽象化する 功させるために、具体的なスローガ	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒	「学級活動 思いやりの気持ちをでてよう」       多面的・多角的にみる       像などと自       思いやりの気持ちの大切さを認識しる面的・多角的にする。	今季課題 具体化する・抽象化する。	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について	多面的・多角的にみる自分の良さや個性を多面的に捉え、	2年生になる自分」
特別活動 思考操作 資質・能力	「字級活動」字級目標を決めよっ」   関連付ける・構造化する   関連付け	う」「字級活動る・構造化する多点個性を理解し、そ友達の息けて大運動会を成見つめ、	動 自分を知る及たちを知る」 面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で の交流を通して、	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に 考え、まとめることができる。また、他者と さまざまな学習方法に関心をもち、自己の	夏季課題 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を	をとらえ 文化発表会を成 もって調 ン等を考え、多	具体化する・抽象化する 功させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒 分の適性などを関連づけながら、人	「学級活動 思いやりの気持ちをす てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自 間としての がでする	今季課題 具体化する・抽象化する。 対	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考	2年生になる自分」
	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づ	う」「字級活動る・構造化する多点個性を理解し、そ友達の息けて大運動会を成見つめ、	動 自分を知る及たちを知る」 面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で の交流を通して、	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に 考え、まとめることができる。また、他者と	夏季課題 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義な	をとらえ 文化発表会を成 もって調 ン等を考え、多	具体化する・抽象化する 功させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒	「学級活動 思いやりの気持ちを育 てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自 間としての 思いやりの気持ちの大切さを認識 し、多面的・多角的にコミュニ ケーションの取り方について考	今季課題 具体化する・抽象化する。 対	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考	2年生になる自分」
	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づ ついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるため ができる。 とができる。	う」「字級活動る・構造化する多点個性を理解し、そ友達の息けて大運動会を成見つめ、	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 大きえたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 学習の在り方を自	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する 化して捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。	具体化する・抽象化する ことの	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。	をとらえ 文化発表会を成 もって調 ン等を考え、多 る。 を理解すること	具体化する・抽象化する 功させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること	「学級活動 思いやりの気持ちをす てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自 間としての がでする	今季課題 具体化する・抽象化する	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考	2年生になる自分」
資質・能力	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者のれらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る	う」「字級活動3・構造化する多店個性を理解し、そ 友達の見けて大運動会を成 見つめ、の方策を考えるこ い、よりきる。「自分で決めるっ多面的・多角的に見	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で の交流を通して、 学習の在り方を自 見る 多面的・多角的に見る	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する 化して捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」 多面的・多角的に見る	夏季課題 具体化する・抽象化する こと の 「雨の日の昇降口」 夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をでいることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「父の言葉」 「やっぱり樹里にあるのか、多角的に見る。	をとらえ 文化発表会を成 もって調 ン等を考え、多 る。 を理解すること は 」 「三百六十五X十四	具体化する・抽象化する  功させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。  回分の「ありがとう」」 「異文化の人 名角的に目る 名面的・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「	「学級活動 思いやりの気持ちをでてよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」	今季課題 具体化する・抽象化する 人 季課題	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。	2年生になる自分」
資質・能力	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者のれらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る 「席を譲る」という一つの出来事に対し 「男らしさ・女らしさ」というが、「らし	う」「字級店」3・構造化する多店個性を理解し、そ友達の民けて大運動会を成見つめ、の方策を考えるこい、よりきる。きる。「自分で決めるつ多角的に見自分を見つめ、個性をよ	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で って 「夢を諦めない」 見る 多面的・多角的に見る よりよい 絵を描くことは好きだったが、自分の	ま、わたしたちが学ぶこと」 は化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。 「六十二枚の天気図」 多面的・多角的に見る に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験	夏季課題  具体化する・抽象化する  こと の 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る まを 新聞の天気予報欄の切り抜	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる 「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく	をとらえ 文化発表会を成って調 ン等を考え、多る。 を理解すること ここ百六十五×十四 ここる 多面的・	本化する・抽象化する	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒が分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「多角的に見る 多面の ション	「学級活動 思いやりの気持ちをすてよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る を達は、人生を豊かにするかけがえの	今季課題 具体化する・抽象化する 人季課題 具体化する・抽象化する	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する	2年生になる自分」
資質・能力	関連付ける・構造化する   関連付ける   対級の一員として、互いの意見を尊重し、そ   自己や他者のれらを関連づけながら、よりよい学級目標に   れらを関連づついて考え、理由を示して意見を述べること   功させるためができる。   「席をゆずったけれど」   「親友」   多面的・多角的に見る   「席を譲る」という一つの出来事に対してさまざまな立場の人から、多様な反響   さ」に縛られず、自他のよさを伸ばすことが	う」「学級活動る・構造化する多度個性を理解し、そ友達の見けて大運動会を成見つめ、いきる。の方策を考えるこいきる。自分で決めるの多角的に見自分を見つめ、個性をより方向へ伸ばして輝かせ、	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で っで流を通して、 学習の在り方を自 を 見る を の変流を通して、 学習の在り方を自 を は好きだったが、自分の 会には好きだったが、自分の ない。	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験を 振り返ったり、真実を求めて行動する	夏季課題  具体化する・抽象化する  こと の 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 事間の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のう	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる 「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく ても勇気の出ない自分を認め、話 自分の考えを丁寧に相手に伝え	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考え、多 る。 を理解すること	A	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生 する筆者の接し方から、 心から信頼できる友達を 的に できるときには、	「学級活動 思いやりの気持ちをでてよう」 多面的・多角的にみる のなどと自問としてのができる。  「いちばん高い値段の絵」 の・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、学校生を関がし、高め合い、悩みや葛藤を克服	今季課題 具体化する・抽象化する 人季課題 人季課題 具体化する・抽象化する なできます	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ	2年生になる自分」
資質・能力 道徳 道徳開き 思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者のれらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る 「席を譲る」という一つの出来事に対し 「男らしさ・女らしさ」というが、「らし	う」「学級活動る・構造化する多度個性を理解し、そ友達の見けて大運動会を成見つめ、いきる。の方策を考えるこいきる。自分で決めるの多角的に見自分を見つめ、個性をより方向へ伸ばして輝かせ、	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で っで流を通して、 学習の在り方を自 を 見る を の変流を通して、 学習の在り方を自 を は好きだったが、自分の 会には好きだったが、自分の ない。	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験を 振り返ったり、真実を求めて行動する	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る  具体化する・抽象化する  薬を 主 はた日奈には、無意識のうしちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂げよう	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる 「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考え、多 を理解すること	A	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生 する筆者の接し方から、 心から信頼できる友達を 的に できるときには、	「学級活動 思いやりの気持ちをするよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、学校生 を対し、高い合い、関係を支援である。人間として互いの人格を関いるといる。	今季課題 具体化する・抽象化する 人季課題 人季課題 具体化する・抽象化する なできます	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命」	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 対象の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者のれらを関連づけながら、よりよい学級目標に れらを関連づついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 「親友」 「親友」 「親友」 「別を向いてきる。 「席を譲る」という一つの出来事に対してきまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させ を尊重し合える人間関係を築ける学級集団 でき、性別よりも人としてのそれぞれの個性を尊重し合える人間関係を築ける学級集団	う」る・構造化する多度個性を理解し、その方友達ののののののののののののでけて大運動会を成れること見つめいのののののののののののののののののので自分で決めるの多面的・多角性をよった自分を見つめいののののののののでであるのので方向へ伸ばして輝かることがまたまさせる。た生きたさせる。	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る を動面的・多角的に見る よりよい 充実し たっている仕事を見つけられず、職会としていた麻子が、自分の得意ないのを仕事にしようとしたことについて	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する  として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の音律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る  に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験を振り返ったり、真実を求めて行動するにある。  に 人公の姿を自分自身に重ね合わせたりて、人がもつ探究心についての考えを認めているか。  「情景がイメージできる音楽表現とは?」	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る  具体化する・抽象化する  薬を 主 はた日奈には、無意識のうしちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂げよう	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる  「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく ても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」 の心の変化について考えさせる。 「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」  関連付ける  ・ 横手でよりについて考えさせる。  「やっぱり樹里には、 を あることが、相手をであくもに否定するので 自分の考えを丁寧に相手に伝える。 あることや、相手の指摘を受容高めることについて考えさせる。	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考え、多 を理解すること	A	「学級活動 中学校卒業後の自分を考します。 関連付ける・構造化する 対路について、各高校の求める生徒が分の適性などを関連づけながら、人は生き方についての考えを深めること 「魚の涙」「漁の涙」「漁の湯したのまるを選したから信頼できる友達を もつことの大切さと行動の表し方について考える ことができる。 「アジアの音楽とは?」	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる とと自間としてのができる。    (本) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	今季課題 具体化する・抽象化する 人季課題 人季課題 具体化する・抽象化する なをする なをする こ	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるため ができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 「席を譲る」という一つの出来事に対してさまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。 「別からとしてのそれぞれの個性を尊重し合える人間関係を築ける学級集団なろうとする価値観を育みたい。	う」る・構造化する多度個性を理解し、その方友達ののののののののののののでけて大運動会を成れること見つめいのののののののののののののののののので自分で決めるの多面的・多角性をよった自分を見つめいののののののののでであるのので方向へ伸ばして輝かることがまたまさせる。た生きたさせる。	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る を動面的・多角的に見る よりよい 充実し ことは好きだったが、自分の合意ない。 充実し ことについ のを仕事にしようとしたことについて えさせる。	ま、わたしたちが学ぶこと」 具体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の自律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験を 振り返ったり、真実を求めて行動するになる。 に 人がもつ探究心についての考えをなめているか。  「情景がイメージできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のうちに自分の目標に向かって決めたことをやり遂げようとする思いが生まれていたと想像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる  「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく ても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」 の心の変化について考えさせる。 「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」  関連付ける  「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 相手をやみくもに否定するので 自分の考えを丁寧に相手に伝え めることや、相手の指摘を受容高めることについて考えさせる。	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考え、多 を理解すること	操体化する・抽象化する	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 に、他国の人々と共生である。 「別外れにされた子に対する筆者の接し方から、から信頼できる友達を もつことの大切さと行動に見る の表し方について考える の表し方について考える ことができる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体取り組み、学校生充実させるというから考えさせる。  「アルトリコーダーの魅力とは?」	今季課題 具体化する・抽象化する 人季課題 人季課題 具体化する・抽象化する なできます	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには?	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に	う」字被点る・構造化する友達の財産個性を理解し、そので見い、方策を考えること見い、きるののよりで決めるので決めるので決めるので決めるので決めるので決めるのではである。自分で決めのいので決めるので決めるので決めるのではできたである。多見のめよりのではできたであるのではできたである。またとのではできたであるのである。た生きたさせる。るためには?」るためには?」	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい た実し たたっている仕事を見つけられず、職を描くことは好きだったが、自分的をしている仕事を見つけられず、職を付しようとしたことについて、えさせる。	ま、わたしたちが学ぶこと」  本化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の主きできる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る に 好奇心をもって物事に取り組んだ経験を 振り返ったり、真実を求めて行動するとなる。  て、人がもつ探究心についての考えを決めているか。  「情景がイメージできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」 多面的・多角的に見る	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のうちに自分の目標に向かって決めたことをやり遂げようとする思いが生まれていたと想像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るを面的・多角的に見るを面がある。また、職業ではのいてきることができる。また、職業では、を関連付け、を理することができる。を面的・多角的に見るを面がある。またでは、場手をやみくもに否定するので自分の考えを丁寧に相手に伝えめることや、相手の指摘を受容の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける	*** *** *** ** ** ** ** ** ** ** ** **	操作化する・抽象化する	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生で考えさせるときには、いから信頼できる友達を助に、 もつことの大切できる。 をのたができる。 にアジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的にコミュニケーションの取り方について考え、実践することができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、学校生充実させるというから考えさせる。 たとは?」 「アルトリコーダーの魅力とは?」 比較する	今季課題	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命」 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  な や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・ 関連付ける  関連付ける	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける	う」子級内3・構造化する友達ののめより個性を理解して大成の方策を考えるこ見いきめるのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい 充実し こことは好きだったが、自分の合うでであるとは好きだったが、自分の合うででであるとはがある。 「歌曲の魅力とは?」 上較する 音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様について、比較しながら考察する活動を 高楽文化について、比較しながら考察する活動を	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の表別である。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをおり、真実を求めて行動するとなる。また、他名の姿を自分自身に重ね合わせたり、方できる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る 性ををできる。	夏季課題  具体化する・抽象化する  こと の 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のうちに自分の目標に向かって決めたことをやり遂げようとする思いが生まれていたと想像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる  「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく ても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」 の心の変化について考えさせる。 「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」  関連付ける  「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 相手をやみくもに否定するので 自分の考えを丁寧に相手に伝え めることや、相手の指摘を受容高めることについて考えさせる。	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考えこと は ン等を考えること 「三百六十五×十四 多面 やしとの かいととの かいととの かいとしの かい させるようにする させるようにする ことで、ハーモニー えることで、ハーモニー なることで、ハーモニー	具体化する・抽象化する  功させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。  国分の「ありがとう」」 「異文化の人 多角的に見る 多面的・ の心に見る 多面的・ であることを自覚 であることを自覚 か然的に、自国の する自分の考えに 「日本のうたの魅力を探ろう」 比較する 曲想と音楽の構造や背景などの関わりに び音楽の多様性などの音楽文化につい	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生で考える筆者の接し方からに対する。 を対したせるときには、から信頼できる友達をもっことの大切さと行動の表し方について考える。とができる。 「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  「いちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、学校生充実させる。 カーションの取り方についてもる。 「いちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る をやおいのを表してある。人間として互互を表してある。人間としてものがら考えさせる。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とび音楽の多のはいい音色について、音域のでいると表のでは、息の吐き方やタンギングの	名字課題       名字課題       具体化する・抽象化する       なをする・なをする・独象化する・抽象化する       具体化する・抽象化する       高の	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命」 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題を しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  か自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・ 」 「思いが伝わる表現とは? 関連付ける  な や業式歌について、歌詞の内容に着目し、 このイメージと関連付けながら、湿声3部	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける	う」子級内3・構造化する友達ののめより個性を理解して大成の方策を考えるこ見いきめるのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい 充実し たた実し につい を描くことは好きだったが、自分につている仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見つけられず、職が合っている仕事にしようとしたことについて、えさせる。 「歌曲の魅力とは?」  比較する 「歌曲の魅力とは?」	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の表別である。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをおり、真実を求めて行動するとなる。また、他名の姿を自分自身に重ね合わせたり、方できる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る 性ををできる。	夏季課題  具体化する・抽象化する  こと の 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のうちに自分の目標に向かって決めたことをやり遂げようとする思いが生まれていたと想像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義なで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る赤い松葉づえの子に話しかけたくても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  関連付ける	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考えこと は ン等を考えること 「三百六十五×十四 多面 やしとの からといるといる。 せんしょうにする はないようにする はないとの させるようにする させるようにする さんことで、ハーモニー えることで、ハーモニー えることで、ハーモニー	本化する・抽象化する   対させるために、具体的なスローガ機な他者と協働する集団活動の意義ができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生で考える筆者の接し方からに対する。 を対したせるときには、から信頼できる友達をもっことの大切さと行動の表し方について考える。とができる。 「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」  多面的・多角的にみる  思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的にコミュニケーションの取り方について考え、実践することができる。  【だを思うをいる。  「いちばん高い値段の絵」  の・多角的に見るを達は、人生を豊かにするかけが人格の表達は、人生を豊かにするかけが人格の表させる。  なずら考えさせる。  「アルトリコーダーの魅力とは?」  比較する  曲にふさわしい音色について、音域のでは、息の吐き方やタンギャスを使い分けながら演奏の下去する。	名字課題       名字課題       具体化する・抽象化する       なをする・なをする・独象化する・抽象化する       具体化する・抽象化する       高の	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  か自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・ 」 「思いが伝わる表現とは? 関連付ける  な や業式歌について、歌詞の内容に着目し、 このイメージと関連付けながら、湿声3部	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること ができる。 「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 「席を譲る」という一つの出来事に対してさまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現する方がら、これの表現する。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現する方がら、音楽の構造や背景などを関連付けながら、音楽文化について理解することができる。 「も思った」とは、は別よりも人としてのそれぞれの個別を尊重し合える人間関係を築ける学級集団なろうとする価値観を育みたい。 「いい声、いい音で表現する方とする価値観を育みたい。 「はいい声、いい音で表現する方に、 関連付ける 関連付ける 関連付ける 関連付ける 関連付ける 関連付ける あることを実感させ は、 は別よりも人としてのそれぞれの個別をないます。 「いい声、いい音で表現する方とする価値観を育みたい。 「いい声、いい音で表現する方と音楽表現との関わりについて理解し、 は初や音楽の構造を理解し、 関連付け、イメージを広げながら歌唱る。	Paper   Pa	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい 充実し こことは好きだったが、自分の合うでであるとは好きだったが、自分の合うででであるとはがある。 「歌曲の魅力とは?」 上較する 音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様について、比較しながら考察する活動を 高楽文化について、比較しながら考察する活動を	ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者できる。また、自己の主きがに改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをおり返ったり、真実を求めて行動する。 がもつないて切り組んだ経験できる。 は、人がもつ探究心についての考えをできる。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る 性をを	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日条には、無意識のうちに自分の目標には、無意識のうちに自分の目標には、無意識のうちに自分の目標には、まる選いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や 多気表	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る赤い松葉づえの子に話しかけたくても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける 混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。	を は な と な が ら な と が ら な と が ら な と が ら な と で 、 、 歌詞 が ら な と で 、 か ま さ と が ら な と か さ さ さ さ か さ さ さ か さ さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か か さ か か か さ か か か か さ か	本化する・抽象化する   中ではないできる。   中であることを自覚	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生 で考えさせるときには、 から信頼できる友達をもつことの大切さと行動に表するをできる。 に対する第を入り切さと行動に表するを表したできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するできる。 に対するとさいについて考える。 に対するといいできる。 に対するといいでものといいで、といいでものといいで、といいでものといいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」  多面的・多角的にみる  思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面の・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」  の・多角的に見る 会や部活動に主体取り組み、学校生充実はできる。  「いちばん高い値段の絵」  あ・多角的に見る をである。人間としてのがも考えさせる。  「アルトリコーダーの魅力とは?」  とは?」  とび音楽の多いがら考察す  に流着目し、息の吐き方やタンギャるとができる。  「調和のとれた美しさとは何か」	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する   本をする・抽象化する   本をする   本をする	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 しての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏と るように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ね	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、   おしい生き方や職業を関連付けて考   できる。    で	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作資質・能力	関連付ける・構造化する 関連付け	Secondaria   S	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい 充実し こについ のを仕事にしようとしたことについて えさせる。 「歌曲の魅力とは?」  比較する 「楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様情楽文化について、比較しながら考察する活動を開からという。	ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをおり、真実を求めて行動する。 大公の姿を自分自身に重ね合わせたり、方者のできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る 性をを抑揚と旋律とのかかわりについて多面のの環でできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る 性をを抑揚とができる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る  性をを抑揚とができる。  「精力について理解し、これである。」 「大学の変化による旋律の雰囲気の違いに気づき、詩の内容を味わいながらる現を工夫して歌唱することができる。  「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできる。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできるうか。」 「描かれている人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している人やできる」 「話している」 「はないる人やできる」 「はないる」 「はないる人やできる」 「はないる人はないる」 「はないる人はないる」 「はないる人はないる」 「はないる」 「はないるいる」 「はないるいる」 「はないる」 「はないるいる。」 「はないるいる」 「はないるいるないるいるないる。」 「はないるいるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるない	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの 「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日奈には、無意識のうちに自分の目標に向かって決めたことをやり遂げようとする思いが生まれていたと規像できる。この点に関 夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう 具体化する・抽象化する  や多気表 情情作者 る」 夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」 と)	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をきべることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るかい松葉づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景)	を は な と な が ら な と が ら な と が ら な と が ら な と で 、 、 歌詞 が ら な と で 、 か ま さ と が ら な と か さ さ さ さ か さ さ さ か さ さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か か さ か か か さ か か か か さ か	はないできる。  「国体化する・抽象化する はないできる。  「国力の「ありがとう」」 「異文化の人 多面的・ のかの「ありがとう」」 「異文化の人 多面的・ のからして考えさい。 のからして考えさい。 のからして考えさい。 はないであることを自覚い。 「日本のうたの魅力を探ろう」 と較する はないの考えにいて表えどの関わりにである。  「日本のうたの魅力を探ろう」 と較する はないの考えにいて、比較しながら考察する活動を通して、比較しながら考察する活動を通して、といできる。  「イメ (印象に残るシン	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、人 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「 多角的に見る 多面的・多角的に見る 多面 し、他国の人々と共生で考えをできる人達をできる人をできるときには、 から信頼できる友達を的に活動である。とれに対するできる人できる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する は、できるとの大切されて、比較しなる活動を通して理解することができる。	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面の・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体取り組み、学校生充実させる。 会や部活動に主体取り組み、学校生充実させる。 にいちばん高い値段の絵」 多面的・多角的に見る 友達は、人生を豊かにするのよりがえの外にである。会いのである。とはである。会い、「のから考えさせる。」 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とび音楽の多いがら考察す はび音楽の多いがら考察す にふさわしい音色について、音域のに着目し、息の吐き方やタンギンをとができる。 「調和のとれた美しさとは何か」(広がる模様の世界、折って、物って	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する   操作化する・抽象化する   条季   操化する・抽象化する   条季の   保下の   条季の   保下の   様)	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 しての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏と るように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ね	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考できる。  「や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 「高いもの、崇高なものとの関われる通じである。」 「思いが伝わる表現とは?」 「思いが伝わる表現とは?」 「思いが伝わる表現とは?」 「される。 マ業式歌について、歌詞の内容に着目し、関連付けるがら、混声38年ままることでは、思いが伝わる表現を工夫することで描えたデザインとは」	2年生になる自分」
資質・能力道徳道徳開き思考操作音楽思考操作変質・能力質質・能力	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、それらを関連づけながら、よりよい学級目標について考え、理由を示して意見を述べることができる。	う」       3         る・構造化する       友定のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る よりよい を描くことは事を見つけられず、職者を指している仕事を見つけられず、職務を指している仕事を引いたことについて、なさせる。 「歌曲の魅力とは?」 上較する 「歌曲の魅力とは?」 上較する 「楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性であるが、といって、といって、といって、といって、といって、といって、というとした。といって、なさせる。	ま、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者できる。   一十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る   好奇心をもって物事に取り組んだ経験   振り返ったり、真実を求めて行動する。   人公の姿を自分自身に重ね合わせたりできる音楽表現とは?」   「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見る   複合拍子について理解し、日本語のリズムやがもできる音楽表現とは?」   タ面的・多角的に見る   複合拍子について理解し、日本語のリズムや物に考え、伴奏の変化による旋律の雰囲気の違いに気づき、詩の内容を味わいながらま現を工夫して歌唱することができる。   「描かれている人やの意図と工夫して歌唱することができる。   「描かれている人やの意図と工夫して歌唱することができる。   「描かれている人やの意図と工夫して歌唱することができる。   「描かれている人やの意図と工夫して歌唱することができる。   「描かれている人やの意図と工夫して歌唱することができる。   (絵の中をよくみると	夏季課題  具体化する・抽象化する  ことの  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予報欄の切り抜きを、夏休みの間中毎日続けた日条には、無意識のうちに自分の目標には、無意識のうちに自分の目標には、無意識のうちに自分の目標には、まる選いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や 多気表	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける 働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る赤い松葉づえの子に話しかけたくても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける 混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。	を は な と な が ら な と が ら な と が ら な と が ら な と で 、 、 歌詞 が ら な と で 、 か ま さ と が ら な と か さ さ さ さ か さ さ さ か さ さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か さ さ か か さ か か か さ か か か か さ か	はないできる。  「国体化する・抽象化する はないできる。  「国力の「ありがとう」」 「異文化の人 多面的・ のかの「ありがとう」」 「異文化の人 多面的・ のからして考えさい。 のからして考えさい。 のからして考えさい。 はないであることを自覚い。 「日本のうたの魅力を探ろう」 と較する はないの考えにいて表えどの関わりにである。  「日本のうたの魅力を探ろう」 と較する はないの考えにいて、比較しながら考察する活動を通して、比較しながら考察する活動を通して、といできる。  「イメ (印象に残るシン	「学級活動 中学校卒業後の自分を考しません。 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の分の適性などを関連づけながら、人生き方についての考えを深めること 「魚の涙」「急のに見る」を対して、となさせるときには、から信頼できる友達をして、それに対したされた。 できる。 「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及様性などの音楽文化について、比較しなる活動を通して理解することができる。	「学級活動 思いやりの気持ちを背てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る をや部活動に主体取り組みみ、さというから考えさせる。 とは?」 に方がら考えさせる。 にアルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 に変する 曲にふさわしい。息の吐き方やタの工夫するとができる。 に満目しい分けながら演奏の工夫するとができる。 「調和のとれた美しさとは何か」にがる模様の世界、折って、巻いて) 関連付ける・構造化する	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する   操作化する・抽象化する   条季   操化する・抽象化する   条季の   保下の   条季の   保下の   様)	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる  「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題を しようとしている。  「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏と るように表現の工夫をすることができる。  「使いやすさと美しさを兼ねれ (暮らしの中の木 関連付ける・構造	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。	2年生になる自分」
資質・能力	関連付ける・構造化する   関連付けさいできる。   「席をゆずったけれど」   タ面的・多角的に見る   「親友」   タ面的・多角的に見る   「親友」   タ面的・多角的に見る   「鬼らしさ」というが、「らしてきまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。   「音楽とは?」   「いい声、いい音で表現するの関連付ける   「事を形づくっている要素や音楽に関する用語や記号と音楽表現との関わりについて理解し、自想と、音楽の構造や音景などを関連付けながら、音楽文化について理解しながら、音楽文化について理解しながら、音楽文化について理解することができる。   「表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう)   (見方や感じ方を広げよう)   タ面的・多角的に見る   「たをほびからできる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果や意味できる。   「レタリングの効果で意味できる。   「レタリングの効果できないできる。   「レタリングの効果できないできる。   「レタリングの効果できないできないできる。   「レタリングの効果できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	**   **   **   **   **   **   **   *	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で「夢を諦めない」 見るよりよい 充実しことについを仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見がいまさせる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様や 音楽文化について、比較しながら考察する活動を 曲のよさや美しさを味わって聴くことができ 「色にはどのような性質や意味があるのな (色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、普段の生活で目にしているとされていることを意識させ、色彩の豊かさと	は、わたしたちが学ぶこと」    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表え、まとめることができる。また、他者とさまな学習方法に関心をもち、自己の主意のできる。   一一枚の天気図」   多面的・多角的に見るに変していて現解しての考えを変します。   大十二枚の天気図」   多面のもり、真実を取めてわせたりない。 は、1 大公の姿を自分自身に重ね合わせたりない。 またまながもの海界の違いとは?」   多面的・多角的に見るをは、1 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見るを味わいての考えを変めているが、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予稼騰の切り波きを、夏休みの間中毎日競されていたには、無意識のうちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂ばようとする思いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や多気気表  情情者 夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をきべることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るかい松葉づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関係を理解し、曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景)	をとらえ 文化発表会を成って調 をとらえ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	本化する・抽象化する   中のさせるために、具体的なスローガ   様な他者と協働する集団活動の意義ができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考して、	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間し、多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さとってからできる。 にいちばん高い値段の統 ができる。 「いちばん高い値段の統」 か・多角的に見る 友達は、人高いがのできる。 「いちばん高いがのできる。 が多角的に見る 友達は、人高いがのできる。 ながり組みである。人間としてである。人間としてである。人間としてである。とというから考えさせる。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とが音楽の多ながら考察す 低に着目し、分けながら演奏の工夫するとができる。 「調和のとれた美しさとは何か」(広がる模様の世界、折って、巻いで) 関連付ける・構造化する はに、伝える	冬季課題   冬季課題   冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する   上海のこ   冬季課題   千万のこ   冬季課題   千万のこ   千万のこ	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題をしようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現をえるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれて暮らしの中の木 関連付ける・構造と話の中の木材工芸にふれ、木肌の	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、   わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。	2年生になる自分」
資質・能力	関連付ける・構造化する 関連付け	Physical   Physica	画的・多角的にみる良さを多面的・多角的にみる良さを多面的・多角的にみるりよい人間関係を構築でりまい人間関係を構築でする。	は、わたしたちが学ぶこと」    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表え、まとめることができる。また、他者とさまな学習方法に関心をもち、自己の主意のできる。   一一枚の天気図」   多面的・多角的に見るに変していて現解しての考えを変します。   大十二枚の天気図」   多面のもり、真実を取めてわせたりない。 は、1 大公の姿を自分自身に重ね合わせたりない。 またまながもの海界の違いとは?」   多面的・多角的に見るをは、1 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見るを味わいての考えを変めているが、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予稼騰の切り波きを、夏休みの間中毎日競されていたには、無意識のうちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂ばようとする思いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や多気気表  情情者 夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義でも自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るがいます。」 「やっぱり樹里にあるの出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考で、かったの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景)関連付ける・構造化する	をとらえ 文化発表会を成 2 次等を考え、2 と	本化する・抽象化する   中では   中	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計路について、各高校の求める生徒・分の適性などを関連づけながら、人生き方についての考えを深めること 「魚の涙」「漁の涙」「漁の涙」「漁の湯のに見るを深めること」「魚の涙」「漁の湯のに見るを深めること」「魚の涙」「高いでは、一次に続いて、ことができる。」「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現上、「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現上、「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現上、「日本語の音楽文化について、比較する」」である活動を通して理解することができる。  本がを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さを認識し、ションのの取り方についてきる。  紙芝居」 の・多角的に見る の・多角的に見る をいることができる。  「いちばん高い値段の絵」 の・多角的に見る をいることができる。 「いちばん高い値段の絵」 の・多角的に見る をいる。としてである。のいってものいいってものとしてものである。とするの情を育みたい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 神象化する   本化する・ 抽象化する   本化する・ 抽象化する   本様   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれて、著らしの中の木 関連付ける・構造という。 「生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え	多面的・多角的にみる 、自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。  か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ 「思いが伝わる表現とは? 関連付ける 卒業式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける 本業式歌について、歌詞の内容に着目し、 思いが伝わる表現を工夫すること 構えたデザインとは」 なの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ にの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する	2 年生になる自分」
資質・能力       道徳     道徳開き       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       「美術科の授業で学ぶのか。」       思考操作       図画工作科で学んだことを認り、美術科の学びにといるり、美術科の学びにといっながるか、その共通いたを考す作品を元に実際とができる。	関連付ける・構造化する 関連付ける 特造化する 関連付ける 特造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ れらを関連づけながら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためとができる。 「席をゆずったけれど」 多面的・多角的に見る 「席を譲る」というつの出来事に対してきまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現する声音を音楽表現との関わりについて理解し、曲想と、音楽の構造や背景などを関連付けながら、音楽文化について理解することができる。 「表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 情表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 作品変質をとおして、描かれているものや構図、色彩から作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考え、人間と造形との関わりを理解することができる。 な現することができる。 ないの関わりを理解することができる。 ないの関わりを理解することができる。 ないの関わりを理解することができる。 で表現することができる。	「学校本店」	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 学習の在り方を自	ま、わたしたちが学ぶこと」    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考えまとができる。また、自己の生き方に考えまな学習方法に関心をもち、自己の生き方に表して改善できる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る  好奇心をもって物事に取め合わせたりについての考えを対めて、人がもつ探究心についての考えを対めて、いるか。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」   多面的・多角的に見る  をもうについての考えを対めているか。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」   多面的・多角的に見る  をもうについて理解し、についた多の変化に見る  中国の違いとは?」   タ面の・多角のに見る  をできる。   「描かれている人や別様とがき、持の内容を味わいるとができる。   「描かれている人や別様の企工夫して歌唱することができるとをもらるとと経験が結びついて、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予稼騰の切り波きを、夏休みの間中毎日競されていたには、無意識のうちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂ばようとする思いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や多気気表  情情者 夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るがい松葉づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱について考えさせる。 「混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景) 関連付ける・構造化する 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、形や色彩のも	をとらえ 文化発表会を成 2 次等を考え、2 と	本化する・抽象化する   中のさせるために、具体的なスローガ   様な他者と協働する集団活動の意義ができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考して、	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体取り組み、るとせいうから考えさせる。  「いちばん高い値段の絵」 の・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、るとせいうから考えさせる。 とは?」  に、済を使いうながら考察す は、人生を豊かにするからのとしての表し、で、とする心情を育みたい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」  に、済を使い分けながら演奏の工夫するとができる。  「調和のとれた美しさとは何か」(広がる模様の世界、折ってといって、巻いて) 関連付ける・構造化する 日本の伝統文様や着物の柄などからのに現れなどの形や色彩の特徴のにある。  に、伝える の調和を考	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 神象化する   本化する・ 抽象化する   本化する・ 抽象化する   本様   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ(暮らしの中の本 関連付ける・構 生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。	多面的・多角的にみる 、自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。  か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ 「思いが伝わる表現とは? 関連付ける 卒業式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける 本業式歌について、歌詞の内容に着目し、 思いが伝わる表現を工夫すること 構えたデザインとは」 なの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ にの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する の持つ温かさや感触に気づ に変化する	2年生になる自分」
資質・能力       道徳     道徳開き       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       図画工作科の授業で学ぶのか。」       思考操作       資質・能力       図画工作科で学んだことに返り、美術科の学びにといったがるか、その共通的いを参考作品を元に実感とができる。	関連付ける・構造化する 関連付け	「学校本店」	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で「夢を諦めない」 見るよりよい 充実しことについを仕事を見つけられず、職が合っている仕事を見がいまさせる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様や 音楽文化について、比較しながら考察する活動を 曲のよさや美しさを味わって聴くことができ 「色にはどのような性質や意味があるのな (色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、普段の生活で目にしているとされていることを意識させ、色彩の豊かさと	ま、わたしたちが学ぶこと」    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考えまとができる。また、自己の生き方に考えまな学習方法に関心をもち、自己の生き方に表して改善できる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る  好奇心をもって物事に取め合わせたりについての考えを対めて、人がもつ探究心についての考えを対めて、いるか。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」   多面的・多角的に見る  をもうについての考えを対めているか。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」   多面的・多角的に見る  をもうについて理解し、についた多の変化に見る  中国の違いとは?」   タ面の・多角のに見る  をできる。   「描かれている人や別様とがき、持の内容を味わいるとができる。   「描かれている人や別様の企工夫して歌唱することができるとをもらるとと経験が結びついて、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 新聞の天気予稼騰の切り波きを、夏休みの間中毎日競されていたには、無意識のうちに自分の目標に向かって 決めたことをやり遂ばようとする思いが生まれていたと規機できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や多気気表  情情者 夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」 具体化する・抽象化する	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義をで自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見るがい松葉づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱について考えさせる。 「混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景) 関連付ける・構造化する 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、形や色彩のも	をとらえ 文化発表会を成 2 次等を考え、2 と	本化する・抽象化する   中では   中	「学級活動 中学校卒業後の自分を考して、	「学級活動 思いやりの気持ちをでなよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多面の、多角的にみる 思いやりの気持ちの大切されてきる。 思いやりの気持ちの大切されてきる。 にいちばん高い値段の絵 のの取り方についる。 「いちばん高い値段の絵」 の・多角的に見る をや部活動に主体取り組み、として変更ができる。 をや部活動に主体取り組み、として互互嫌である。人間として互互嫌をもいい。その表えさせる。 になきませるというがら考えさせる。 には?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とが音楽の多ながら考察す 曲にふき目し、分けながら演奏の工夫するとができる。 「調和のとれた美しさとは何か」(広がる模様の世界、折って、巻いて)関連付ける・構造化する は、伝えるといる。 「調和を考した、ないできる。 「調和のとれた美しさとは何か」(広がる模様の世界、折って、巻いて)関連付ける・構造化する は、伝える。 「調和を考した、ないできる。	冬季課題   冬季課題   冬季課題   本化する・抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 抽象化する   本をする・ 神象化する   本化する・ 抽象化する   本化する・ 抽象化する   本様   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4年   4	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれて、著らしの中の木 関連付ける・構造という。 「生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え	多面的・多角的にみる 。 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。  か自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関わ を通して考えたことを具体化・ 関連付ける  文章式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける  本学式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける  本学式歌について、歌詞の内容に着目し、 このイメージと関連付けながら、混声3とと はってまかし、思いが伝わる表現を工夫すること  構えたデザインとは」 はの工芸) 造化する  つ持つ温かさや感触に気づ はいる  できる。  これからの世界にある。  「このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	2 年生になる自分」
資質・能力       道徳     道徳開き       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       図画工作科の授業で学ぶのか。」       思考操作       資質・能力       図画工作科で学んだことに返り、美術科の学びにといったがるか、その共通的いを参考作品を元に実感とができる。	関連付ける・構造化する 関連付ける 特造化する 関連付ける 特造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ れらを関連づけながら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること 功させるためとができる。 「席をゆずったけれど」 多面的・多角的に見る 「席を譲る」というつの出来事に対してきまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現する声音を音楽表現との関わりについて理解し、曲想と、音楽の構造や背景などを関連付けながら、音楽文化について理解することができる。 「表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 情表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 作品変質をとおして、描かれているものや構図、色彩から作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考え、人間と造形との関わりを理解することができる。 おいりやすさとで表現することができる。 ないの関わりを理解することができる。 ないの関わりを理解することができる。 ないの関わりを理解することができる。 で表現することができる。		面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 学習の在り方を自	表、わたしたちが学ぶこと」  本化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他自己の自律的に改善できる。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見る 好奇心をもったり、真実を求してついての考えを対めているか。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  多面的・多角的に見る はぞうか。」 「情景がイメージできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  をもり、うき、できる音楽表現とは?」  多面的・多角的に見る はぞうかった。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」  をもり、多面のではよる味わいながら過れている人やに対していた。 「横図と工夫して歌唱することができるとと経験が結びついた。場に対している。) 「無極図と工夫となると多面的・多角的に見るとと経験が結びついた。」 「表図と工夫となるとを表の中をよくみるとを表して歌唱することができる。」 「相関解決の手が図えたができる」 「問題解決の手が関係である。」 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	夏季課題  具体化する・抽象化する  こと  ②  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 素質の大気予確感の切り弦 きさ、意体みの間中毎日競けた目気の目標に向かって 深めたことをやり遂げよう とする思いが任まれていた 上別像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう 具体化する・抽象化する  や 多 気 表  で情 者 る 」と)  具体化する・抽象化する  具体化する・抽象化する  具体化する・抽象化する  は	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義を て自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心を主 べることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に 多面的・多角的に見る 赤い松葉づえの子に話しかけたく ても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考えやフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景) 関連付ける・構造化する 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、形や色彩のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことがで	をとらえ 文化発表会を成 2 次等を考え、2 と	本化する・抽象化する   中では   中	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 針路について、各高校の求める生徒の適性などを関連づけながら、人と生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」 「魚の涙」 「ショウリングをでして、大きできる」 「魚の涙」 「ショウリングである」 「魚の涙」 「ショウリングである」 「魚の涙」 「ショウリングできる」 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 上較する はなどの音楽文化について、比較する は性などの音楽文化について、比較する は性などの音楽文化について、比較する はなどの音楽文化について、比較する はなどの音楽文化について、比較もる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 して る活動を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとみ出し、わかりやすさと形や色彩などと	「学級活動 思いやりの気持ちを育なよう」 多面的・多角的にみる といるの気持ちの大切さを認識し、多角的についるを認識し、多角的にこれできる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体取り組み、学校生充実というから考えさせる。 にいちばん高い値段の絵 をである。人生を豊かにしたがの人克を強い事故し、で、よりいっそう深いたりまる。とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	名字課題       名字課題       人名字課題       本をする・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・抽象化する・	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ(暮らしの中の本 関連付ける・構 生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ 別連付ける を業式歌について、歌詞の内容に着目し、混からのオメージと関連付けながら、混声3を生かし、思いが伝わる表現を工夫すること 構えたデザインとは」 の工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ にある。 これからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物育成の技術	2 年生になる自分」
資質・能力       道徳     道徳開き       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       図画工作科の授業で学ぶのか。」       思考操作       資質・能力       図画工作科で学んだことに返り、美術科の学びにといったがるか、その共通的いを参考作品を元に実感とができる。	関連付ける・構造化する 関連付け法 がら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること ができる。  「席をゆずったけれど」 「親友」 多面的・多角的に見る 「席を譲る」という一つの出来事に対してきまざまな立場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現するとのできる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現するとのできる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現するとのできる。 「表現の魅力は何か。」 (見方や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 情話整賞をとおして、猫かれているものできる。 「しタリングの効果や意味できる。 「たないら、音楽文化について理解することができる。 「レタリングの効果や意味できる。 「なり、イメージを広げながら歌唱できる。 「なり、カ類する 作品整点をとおして、猫かれているものできる。」 「しタリングの効果で意味できる。 「なり、カ類する 作品整点をとおして、猫がれているものできる。」 「しタリングの効果で意味について、リズムをいる。」 「カカラと できる。 「カカラと できる。」 「カカラと できる。 「シャックの対象を受けるがら歌唱をといてきる。 「シャックの対象を受けるかを感じ取り、形から受いについて考え、わかりやすると できる。 とばら かく できる。 「ま現することができる。 「ま現することができる。」 「カカラと できる。 「ままないできる。 「ままないできる。」 「大きないできる。 「ままないできる。」 「大り、イメージを受けるかを感じ取り、形から受いについて考え、わかりやすると できる。 「ままないできる。」 「大り、カカラと できる。 「ままないできる。」 「大り、カカラとと できる。」 「大り、カカラとと できる。 「生活や社会と 大り、カカラと と 大力 社会 における 技術の 役割 生活や社会と 対しないた 「ままないできる。」 「生活や社会と 対しないた 「ままないできる。」 「まないた ないできる。」 「ままないた ないまないた できる。」 「ままないた ないた できる。」 「まないた ないた できる。」 「ままないた ないた ないた ないた ないた ないた ないた ないた ないた ないた	Solution	面的・多角的にみる良さを多面的・多角的にみる良さを多面的・多角的にみるりよい人間関係を構築でいた流を通して、学習の在り方を自動を表表たことを伝え合いよい人間関係を構築でいる仕事を見つけられず、意本を出る。 「夢を諦めない」見るを変が、のを仕事を見つけられず、意本をしていた麻子が、したことについったとしていた麻子が、したことについったとしまっとしまっとしまった。 「歌曲の魅力とは?」 上、「夢を諦めない」 見るを一つのではなりをできまったが、自分ののを仕事にしようとしないでは、まさせる。 「歌曲の魅力とは?」 上、「歌曲の魅力とは?」 「夢を諦めない」 多面的・多角的に表示ができまるとはなります。といるときないでは、ますでは、音段のと言います。とを意識させ、色彩の豊からない。といるとを意識させ、色彩の豊からない。といるとを意識されていることを意識させ、色彩の豊からない。といるとを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されているとの見え方が変化する色彩の効きる。	ま、わたしたちが学ぶこと    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表え、まとめることができる。また、自己の生き方法に関心をもち、自己の主きできる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る  日見る   分のをもって物事に取めて行動するり、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る  多面の・多角的に見る  多面の・多角的に見る  素を、食体みの関中毎日號 はけた日奈には、精音説のうしたとの自然に向かって 決めたことをやり遂げたうとする思いが生まれていた と類像できる。この点に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  や 多 気表  を	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」   関連付ける   関連付ける   関連付ける   関連付ける   でも見の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができまた。	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考えること ない等を考えること にまって 多 を理解すること はよう	は は は は は は は は は は は は は は	「学級活動 中学校卒業後の自分を考して、各高校の求める生徒を関連付ける・構造化するが 会高校の求める生徒を関連づけながら、人は生き方についての考えを深めることを タと共に生きる」 「魚の涙」 「魚の涙」 「魚の涙」 「魚の涙」 「魚の涙」 「魚の一根 の人々と共生である。」 「魚の一般 の表したできる。」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 上較する 機性などの音楽文化に対することができる。 「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 上較する はなどの音楽文化につる活動を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもと み出し、わかりやすさと形や色彩などと もと ない たい の 大き の できる の ない か ら できる ら ら ない か ら できる ら と を か ら できる ら と ら ない か ら できる ら と ら ない か ら できる ら ら の 大き の か ら できる ら ら の 大き の か ら できる ら ら ら の 大き の か ら できる ら ら の か ら できる ら ら の か ら できる ら ら の 大き の か ら できる ら ら い できる ら い できる ら ら い できる ら ら い できる ら い できる ら い できる ら ら い できる ら い できる ら い さ い できる ら い さ ら い できる ら い さ か ら で ら できる ら い さ い できる ら い できる ら い さ い できる ら い さ い できる ら い さ い できる ら い が ら で ら い か ら で い か ら で ら ら い で ら い か ら で ら で ら い か ら で ら で ら で ら で ら で ら で ら で ら で ら で ら	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる といるのの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体 を取り組みせるというから考えさせる。 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を表るように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ(暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 集作のための技能 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するよう	多面的・多角的にみる。 自分の良さや個性を多面的に捉え、 あしい生き方や職業を関連付けて考 できる。  か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ でき通して考えたことを具体化・ 関連付ける できる。  なやで表表を正とを具体化・ のようながらいて、歌詞の内容に着目し、 関連付ける できる。  本業式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける できる。  本業式歌について、歌詞の内容に着目し、 できる。  本で表表をエキャーンとは」 はなって、歌詞の内容に着目し、 にのエ芸) 造化する の方が伝わる表現をエキャーとは はなって、歌詞の内容に着し、 にのエ芸) になって、歌詞の内容に着し、 にあるで表現をエキャーとは はなって、 の本書目とは できる。  これからの材料 生活や社会と生 と加工の技術 物育成の技術 関連付ける にこればよで学んだ知識と関	2年生になる自分」 多面的・多角的にみる 自分にふさ はえることが を観点について多面的に考えることで、2年生としてどのように行動すべきか考えることができる。  1年間の振り返り  1年間の振りを  1年間の振り返り  1年間の振り返り  1年間の振り返り  1年間の振り返り  1年間の振り返り  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間のよる  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間のよるによるの表します  1年間の振りを  1年間の振りを  1年間のよる  1年間のよる  1年間のよるによるの表します  1年間のよる  1年間のよる  1年間のよりを  1年間のよる
資質・能力       道徳     道徳開き       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       図画工作科の授業で学ぶのか。」       思考操作       資質・能力       図画工作科で学んだことに返り、美術科の学びにといったがるか、その共通的いを参考作品を元に実感とができる。	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る をものでするとは好きだったが、自分ので流を通して、学習の在り方を自 のでするについ を仕事にしようとしたが、まとしていた麻子としたことについ を仕事にしようとしていた麻子のを持ち楽文化についた、というにものはながら考察するができます。 「歌曲の魅力とは?」 といずる 「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲のよさや美しさを味わって聴くことができまます。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。(色彩の基本・仕組み)) 分類する。 はるイメージは、普段の生活でしているといるといるといることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されている。 「ないることを意識されている。と「ないないない。」 「ないる」と「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	ま、わたしたちが学ぶこと    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表え、おさまとができる。また、自己の生き方は、	夏季課題   具体化する・抽象化する   2   2   2   2   2   2   2   2   2	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」	をとらえ 文化発表会を成 ン等を考えること で	は は は は は は は は は は は は は は	「学級活動 中学校卒業後の自分を考している。 関連付ける・構造化する 対路について、各高校の求める生徒の 分の適性などを関連づけながら、、と 生き方についての考えを深めること 「魚の涙」「多面的・多角的に見る を	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる といるのの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体 を取り組みせるというから考えさせる。 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現をともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねばく暮らしの中の木関連付ける・構造生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができなりに使いながら表現することができる。 「使いやすさと美しさを兼ねばく暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどができな切に使いながら表現することができる。切に使いながら表現することができた。現作のための技能	多面的・多角的にみる。 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 できる。  や自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ 関連付ける  本業式歌について、歌詞の内容に着目し、 関連付ける 本学式歌について、歌詞の内容に着目し、 思いが伝わる表現をエ夫すること 構えたデザインとは」 にの工芸) 造化する  う持つ温かさや感触に気づ にの工芸) 造化する  これからの材料 生活や社会と生 と加工の技術 物育成の技術 関連付ける  よりよい性病の表現を目前すた のに、これまで学人だ知識と関 連付けながら、対料と加工の技	2年生になる自分」 多面的・多角的にみる 自分にふさ 記えることが を観点について多面的に考えることで、2年生としてどのように行動すべきか考えることができる。  1年間の振り返り  1中間の振り返り  1年間の振り返り  1中間の振り返り  1中間の振りを表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する  1中間の表する  1中間の表する  1中間の表する  1中間の表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する  1中間のよりを表する
道徳 道徳開き 思考操作 資質・能力 音楽 思考操作 資質・能力 「美術科の授業で学ぶのか。」 思考操作 資質・能力 「実ぶのか。」 思考操作 資質・能力 につながるか、その共通 いを参考作品を元に実際 とができる。 技術 思考操作 思考操作	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、それらを関連づけながら、よりよい学級目標について考え、理由を示して意見を述べることができる。  「席をゆずったけれど」 多面的・多角的に見る 「系を護る」という一つの出来事に対してきまざまな立場の人から、多様な反対の見方や考え方があることを実感させる。 「音楽とは?」 「関連付ける 音楽を形づくっている要素や音楽に関する周標や記号と音楽表現との関わりについて理解し、世想と、音楽の構造を背景などを関連付けながら、音楽文化について理解し、世想と、音楽の構造を背景などを関連付けながら、音楽文化について理解することができる。  「表現の魅力は何か。」 「見方や感じ方を広げよう」 「レタリングの効果や意味でき、きで9番。 「表現の魅力は何か。」 「見方や感じ方を広げよう」 「レタリングの効果や意味できる。 なるうとする価値観を育みたい。 「レタリングの効果や意味できる。 なる方とながある。 「表現の魅力は何か。」 「レタリングの効果や意味できる。など何を 「表現の魅力は何か。」 「カカリを重解することができる。 などの形がられているものや構図、色彩から作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考え、人間と造形との関わりを理解することができる。  生活や社会によりる事象と、対き的単類や経済り組織、系は たかしの 表面的に見る を受けるかを感じ取り、形から表で表現することができる。 生活や社会における事象を、対き的単重や経済り組織、系は たかした まかり できる とができる。 生活や社会における事象と、対き的単重や経済り組織、系は たかした まかり 表向の伝真に 第二十年日 は たい こまの伝統的な場所	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る なりよい た実し ことについ 「夢を諦めない」 の交流を通して、 学習の在り方を自 をもっている仕事を見つけられず、意かっとしていた麻子としたことについ を仕事にしようとしたことについ ことである 「歌曲の魅力とは?」  比較する 「歌曲の魅力とは?」  比較する 「楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様情楽文化について、と較しながら考察する活動ではいて、とができ 「色にはどのような性質や意味があるのた(色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、普段の生活で目にしているとれていることを意識させ、色彩の基本・社組み) 分類する するイメージは、普段の生活で見え方が変化する色彩の対きる。  「本を利用するための技術 見る・多角的に見る 比較する 構造化 プラスチックなどの材料について、それぞれ	は、わたしたちが学ぶこと    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表してきる。また、自己の生き方に表してきる。また、自己の生きな学習方法に関心をもち、自己の手できる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見るに対しているながあったり、真実を重ねて行わせまえをがある。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角のに見るに対しているがあった。   「持景がイメージできる音楽表現とは?」   「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見る   投合地場と旋律とのかかわりにこる   放御の連びよ、伴奏の変化による   旋の中で多角的に表して、歌唱することができる。   「描かれている人や角の意図とよりでも多角的にないながらられている人や角のでないできる。   「描かれている人や角のでないながらられている人や角のでないできる。   「相切とないでも多角のには、色彩からに見いて、もの情できるとと経験が結びついた。   「相切とないできるとと経験が結びついた。   「相切とととは、一切とと経験が結びついた。   「相切ととは、一切とないでも表して、一切とないできるととないできる。   「相関解決の手によるできるようには、一切とないでは、またとできる。   「相関解決の手にないできる。」   「は、一切ととには、一切ととには、一切ととには、一切ととには、一切ととには、一切ととには、一切ととには、一切とは、一切とは、一切とは、一切とは、一切とは、一切とは、一切とは、一切と	夏季課題   具体化する・抽象化する   2   2   2   2   2   2   2   2   2	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」   関連付ける   関連付ける   関連付ける   関連付ける   でも見の考えをまとめることができる。また、職業について関心をでいることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができまた。	をとらえ 文化発表会を成 次等を考えること では から ではならと から ではならと から させる ように ながら ない から はない から がら 」 (なぜから する で から する で する する する から する	はないできる。  はないできる。  はないできる。  のかの「ありがとう」」 「異文化の人参の「ありがとう」」 「異文化の人参の「ありがとう」」 「異文化の人参のできる。 「異文化の人参のできる。 「異文化の人参のできる。 「日本のうたのものできる。 「日本のうたの魅力を探ろう」 と一般であることを自覚ができる。 「日本のうたの魅力を探ろう」 と一般であることができる。 「日本のうたの魅力を探ろう」 と一般であることができる。 「イメングの場合であることができる。 「イメングの場合であることができる。 「イメングの場合であることができる。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合である。 「イメングの場合では、まずにおいて、様々などのようには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒 分の適性などを関連づけながら、人と 生き方についての考えを深めること 人々と共に生きる」「魚の涙」「漁の 事面的に見る 季面的・多角的に見る 神間外れにされた子に対 する革者の様し方から、成立とである。とれに対 に向き合うことになる。「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する を構性などの音楽文化についてまえる」 と前を通して理解することができる。 ながも信動を通して理解することができる。 スープを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもと み出し、わかりやすさと形や色彩などと み出し、わかりやすさと形や色彩などと み出し、わかりやすることで、安全のことができる。	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる といるのの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体 を取り組みせるというから考えさせる。 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、題わしようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を表るともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏をあように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれば暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 集作のための技能 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  や自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・  関連付ける	2 年生になる自分」
道徳 道徳開き	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 自己や他者の れらを関連づけながら、よりよい学級目標に ついて考え、理由を示して意見を述べること ができる。 「席をゆずったけれど」 現友」 多面的・多角的に見る 「原を譲る」という一つの出来事に対してさまざまなが場の人から、多様な反響があったことを捉えさせ、いろいろなものの見方や考え方があることを実感させる。とは別よりも人としてのそれぞれの耐力を発表したことができる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現するとができる。 「音楽とは?」 「いい声、いい音で表現するとができる。 「表現の魅力は何か。 音楽文化について理解することができる。 「表現の魅力は何か。」 「見方や感じ方を広げよう」 多面的・多角的に見る ク類する を受けるかを感じ取り、形から受しまりにない。 「はい。 一方を応じする。 「表現の魅力は何か。」 「見方や感じ方を広げよう」 タ面的・多角的に見る ク類する とができる。 生活や社会における考え、人間と造形との関連付ける を受けるかを感じ取り、形から受しまります。 「というが、音楽などを考え、人間と造形との関連的・多角的に見る を受けるかを感じ取り、形から受しました。 「表現の経力は何か。」 「となりな方を広じ取り、形から受しまりますることができる。 大きなどの表別を受けるかを感じ取り、形から受しまる。 「表現の様式を表現る」 「となりな行きを感じなり、形から受しなができる。 生活や社会における 技術がの役割 「要項付ける」 なめの授業で、生活や社会と対することができる。 異代の4次や産系のものでもりに限るを対するととができる。 異代の4次や産系のものでもりに限るを対するととができる。 異代の4次や産系のものでものであまれていることをどに着目	Pow   Po	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る をものでするとは好きだったが、自分ので流を通して、学習の在り方を自 のでするについ を仕事にしようとしたが、まとしていた麻子としたことについ を仕事にしようとしていた麻子のを持ち楽文化についた、というにものはながら考察するができます。 「歌曲の魅力とは?」 といずる 「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲の魅力とは?」 と「歌曲のよさや美しさを味わって聴くことができまます。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。(色彩の基本・仕組み)) 分類する。 はるイメージは、普段の生活でしているといるといるといることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されていることを意識されている。 「ないることを意識されている。と「ないないない。」 「ないる」と「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	は、わたしたちが学ぶこと    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者できる。または関心をもち、自己の言葉をお学習方法に関心をもち、自己の言葉をは、自己の事態に改善できる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る  「赤心をもつり、真具をする。	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 素が腹の天気予解側の切り被主 主 した日余には、無意識のうした日余には、無意識のうした日余には、無意識のうした。 実際 近日分の日頃に関わって 実際 がこまでも引が出まれていた。 と想像できる。このまに関 夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう 具体化する・抽象化する  ・ クラ 気 表	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る赤い松菜づえの子に話しかけたくても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける 混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関いや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景) 関連付ける・構造化する 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、形や色彩のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。 「記事解と見いさし関連付ける 具体化する 関連付ける 具体化する	をとらえ 文化発表会を成 文化発表会を、	は他化する・抽象化する  助させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義ができる。  「異文化の人多面的・ 多面のに見る 多面のできません。 ののでありがとう」」 「異文化の人名 ののであるとをも覚めるとしてであることを自覚 からも他者をして、の考えには、のののではなができる。 「日本のうたの魅力を探ろう」 おいての関わりができる。 「日本のうたの魅力を探ろう」 おいて、 はのようにすればよいだろきる。 「切断作業において、様々ないできる。」 「対断作業において、様々ないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法で部品加工を行うないできる。」 「な方法でおいて、様々ないまりにすればよいだろきるには、どのようにすればよいだろきを書きるには、どのようにすればよいだろきを書きる。」 「なんだった。」 「なんだんだった。」 「なんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだんだ	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒 分の適性などを関連づけながら、人と 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「 多角的に見る 季面的・多角的に見る 季面的に見る 季面的に見る を表えさせない。 できることになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する 地域と音楽の構造や背景などの関わりり及る活動を通して理解することができる。 とができる。 スージを形や色彩で伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て)のではない。 横性などの音楽文化について、比較する はっぱん できる。 スージを形や色彩で伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て)のではある。 はずる 一部 ではる 一部 ではる いまがり できる ことができる。 なて、方とから受ける印象をもとないます。 なて、方とができる。 なな工具を比較することで、安全のことができる。	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる といるのの気持ちの大切さを認識し、多面的・多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 の・多角的に見る 会や部活動に主体 を取り組みせるというから考えさせる。 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、短れしようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしいを伝える演奏をするためには? 「使いやすさと美しさを兼ねれて暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 集体のための技能 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。  か自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ 別 「思いが伝わる表現とは? 関連付ける 要業式歌について、歌詞の内容に着目し、混かさせ、別はではないである表現を工夫すること 構えたデザインとは」 なの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ はの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ これからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物育成の技術 関連付ける と 加工の技術 物育成の技術 関連付ける と と 地に これまで要点に関連を関連で変化し、透明な遅いと関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関	2 年生になる自分」
道徳 道徳開き	関連付ける・構造化する 関連付け。	Pow   Po	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る 多面的・多角的に見る とりよい 充実し とについ 名称を担手にしようとについて、といかにしまっとしていた麻子がしたことについて、といりまする。 「歌曲の魅力とは?」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者を含まな学習方法に関心をもち、自己の主きできる。 「六十二枚の天気図」 多面的・多角的に見る にをもって物事に取り組んだ経験をあるとりなるをもつて物事に取り組んだ経験をあるとり、自身についての考えを対して、人がもつ探究心についての考えを対して、人がもつ探究心についての考えを対して、人がもつなか。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」 多面的・多角的に見る 性を物場と旋律とのかかわりについて多面の男朋がの違いに気づき、詩の内容を味わいながら現を工夫して歌唱することができる。 「精かれている人や景に関いて多いのと表しいなから作品のいに気づき、詩の内容を味わいながられるといるとないと、人間と造形をようからで見、創造的な正夫を考えると、人間と適から作者の心情や表現を変更があることができる。 「問題解決の手が、と思いまして、通過であるようにないた。」 「問題解決の手が、とないで、の場所を記し、といて、「場所では、こと、「ないま」を関係をおいて、「の時性を向上させるた」とはつには、「の時性を向上させるた」とないまして、「は、日本できる時には、「まから作者の心に、「の時間を見からできる」とないまして、「は、日本できる時にないま」を記述されて、「ないま」を記述されて、「ないま」を記述されて、「ないま」を記述されて、「ないま」を記述されて、「ないま」を記述されている。「ないま」を記述されている。「ないま」をはいまして、「ないま」をはいましていまして、「ないま」をはいましていまいまして、「ないま」をはいましていまりまして、「ないま」をはいましていまいましていましていましていましていましていましていましていましていま	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  多面的・多角的に見る 類似の天気予報側の切り放 きた。異体みの間中国は (以た日家には、無意識のうちに自分の日標に向かって 決めたことをやり違げようとする思いが生まれていた と想像できる。この点に関 夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう 具体化する・抽象化する  や 多 気 表 表	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  働く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、職業について関心をできることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。 「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る赤い松菜づえの子に話しかけたくても勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける 混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関いや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か景) 関連付ける・構造化する 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、形や色彩のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。 「記事解と見いさし関連付ける 具体化する 関連付ける 具体化する	をとらえ 文化発表会を、 文化発表会を、 る	はないます。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 は、どのようにすればよいだろう。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 には、どのようにすればよいだろう。 はないにないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 はないできる。 には、どのようにすればよいだろうましたができる。 はないないできる。 には、どのようにすればよいだろうましたがらまる。 はないだっちょうにすればよいだろうましたができる。 はないないさらまる。 はないだっちょうにすればよいだろうまる。 はないようにすればよいだろうまないできる。 はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 計 針路について、各高校の求める生徒 分の適性などを関連づけながら、人と 生き方についての考えを深めること 、々と共に生きる」「魚の涙」「 多角的に見る 季面的・多角的に見る 季面的に見る 季面的に見る を表えさせない。 できることになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する 地域と音楽の構造や背景などの関わりり及る活動を通して理解することができる。 とができる。 スージを形や色彩で伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て)のではない。 横性などの音楽文化について、比較する はっぱん できる。 スージを形や色彩で伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て)のではある。 はずる 一部 ではる 一部 ではる いまがり できる ことができる。 なて、方とから受ける印象をもとないます。 なて、方とができる。 なな工具を比較することで、安全のことができる。	「学級活動 思いやりの気持ちをするよう」   多面的・多角的にみる   8 などと自   8 ひしての ができる。	冬季課題   冬季課題   冬季課題   冬季課題   日本化する・抽象化する   日本化する   日本化れずる   日本化する   日本化する	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏と るように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれている・場別では、本様において、設計の表現することができる。」 「生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。」 「独作のための技能 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の次生活をよりよくするために、どのようにエ 大・実践すればよいたろうか」	多面的・多角的にみる 、自分の良さや個性を多面的に捉え、 る わしい生き方や職業を関連付けて考。できる。  か自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・ の」 「思いが伝わる表現とは?」 関連付ける を業式歌について、歌詞の内容に着目し、混かし、思いが伝わる表現を工夫することを 構えたデザインとは」 の工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ にの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ これからの材料とが表現を工夫することがでが、水上による これからの材料と加工方法や用具などを適 これからの材料とかに気が 関連付ける と 加工の技術 関連付ける と 地質の表現を関係でいるとと生と加工の技術 関連付ける と おりよいは異常の情報に関係でいるとと生と加工の技術 関連付ける と 計画的に活用するためには、 ~衣服をリメイク	2年生になる自分」
道徳 道徳開き	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する	Powdate   Po	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る なりよい 充実し とについ を推っている仕事を見つけられず、意かを仕事にしようとはなから考察する活動であるとしていた麻子が、したことについて、えさせる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 「楽文化について、と較しながら考察する活動でも一般であるとしていた乗りながら考察する活動であるのない。」 とについ を仕事にしようとは?」 とについ を作業文化について、と較しながら考察する活動であるのない。 (色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、普段の生活で目にしているとないできる。 するイメージは、普段の生活で目にしているとなられていることを意識させ、色彩の豊かさと記色によって形の見え方が変化する色彩の効きる。 は、多角的に見るというなどの材料について、それぞれるといるで、クロリの製品や社会の中にある耐力に生かすことができる。 といて、おりの回りの製品や社会の中にある耐力に生かすことができる。 といて、ないないできる。 は、変全で快適に暮らすためには、住まい方を関連付ける・構造	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者とさまざまな学習方法に関心をもち、自己の主きできる。 「六十二枚の天気図」 多面的・多角的に見る にをもいる。 「六十二枚の天気図」 多面のものであり、自身に見るに変をもって、真実を重ね合わせたり、方できる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」」 多面的・多角的に見る をおりまる。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」 「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」 「治療性を副のいて変をいるとは?」「満かれている人や景、横図と工夫とて歌唱することができる。「満かれている人や景、横図と工夫を考えると多面の・多角的に見ば、大きなの中を集みられると、「独の中を多角的に見ているとのできるのできるともの心に見るといて、を変し、人間と遺形とことでは考えたりすることができる。「問題解決のことを必要とないできるのでは、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、」をいているといて、「他の中のによるないと、「他の中のによるない」をは、「対し、ことに対しているといて、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、「他の中の経過にない、」をは、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は、「は	夏季課題  具体化する・抽象化する  (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)	「学級活動 なぜ、わたしたもは働くのだろう」   関連付ける	をとらえ 文化発表会を、3 を で	はないする・抽象化する  はなせるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義ができる。  「異文化の人 多面の「ありがとう」」 の力 の心に見る の心に見る の心にもも、共ににであることを自覚。 「日本のうたの魅力を探ろう」 比較する 曲想を音楽の様性などの関わりにで、、表で、表に、で、表すことができる。  「ののシンボルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考している。 関連付ける・構造化する 計路について、各高校の求めることと 分の適性などを関連づけながら、とと 生き方についての考えを深めること タ 色共に生きる」 「魚の涙」 「魚の湯に見る 神間外れにされた子に対した事を自動の表したになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する はもつにできる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する は他などの音楽文化について、記憶して理解することができる。 スープを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと 製作のための技 タ の ためのりやすさと形や色彩などと なて具を比較することで、安全 ク ことができる。 うか」 するればよいだろうか~	(京えよう) 「学級活動 思いやりの気持ちをでてよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大切コミュニケーションの取り方についる。 にいちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る 友達は不である。人生を豊かに見る 女神が活動に主体 い方がら考えさせる。 ならればしてのがら考えさせる。 「アルトリコーダーの魅力とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題れ しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を えるとともに、自分なりの思いや意を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねば(暮らしの中の木)関連付ける・構造生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 集体のための技能 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の疾性活をよりよくするために、どのようにエ 木・実践すればよいだろうか」 多面的・多角的にみる	多面的・多角的にみる。 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考。 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れを通して考えたことを具体化・ り」 「思いが伝わる表現とは?関連付ける を業式歌について、歌詞の内容に着眉も、記声3部とのイメージと関連付けながら、混声3部と大デザインとは」 はの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づまれたデザインとは」 はの工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づいた。 によいが伝わる表現を工夫することが表し、思いが伝わる表現を工夫すること は、の工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気である。 これからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物育成の技術 関連付ける とかに、これまでサムだ知識と関連付ける はりまいと思うなどを言とができる。 を計画的に活用するためには、 ~衣服をリメイク 関連付ける・構	2 年生になる自分」
道徳 道徳開き	関連付ける・構造化する 関連付け。	う」子検済る・構造化する友見のめ、りまたで、なたし、を成こ友見いきめののよりできる。なためになったで多のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る とりよい 充実しいのを仕事を見つけられず、意なとしていた麻子がしたことについて、ともせる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 「楽文化について、比較しながら考察する活動ではあいまさや美しさを味わって聴くことができます。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 のを仕事にしまっな時間である。 「他彩の基本・仕組み」 分類する するイメージは、普段の生活も必ずるといるともできまれていることを意識させ、色彩の豊活をでいるともの見え方が変化する色彩の対さる。 「本の人としていた麻子が、自分の得意なのをは、できませ、といて、といでできる。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「もれていることを意識させ、色彩の豊から、は、音楽なれていることを意識させ、色彩の豊からない。」 「あるイメージは、音段の生活もの見え方が変化する色彩の対さる。 「ないまって形の見え方が変化する色彩の対さる。」 「ないまって形の見え方が変化すると彩の対さる。」 「ないまって形の見え方が変化するとの中にある耐いないで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、また	ま、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、また、他者できる。また、他者できる。また、他者できる。また、他者できる。また、自己の主き方に対している。   大十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る   多面のであり、真実を重ね合わせたり、真実を重ねられての考えを言いる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る   日表の変を自分である。また、の書談の変を自分である。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見る   技術がよりについて、要はいとは?」   多面的・多角的に見る   技術がないながらいまできる。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」   多面的・多角的に見る   技術があることができる。   「情報がおれている人や景、満図と工夫して歌唱をとなどできる。   「情がなれている人や保証の事をとならいた。」   「情がなれている人や保証の事をとならいた。」   「ないのものでは、大きのであるとと経験が結びかまることができる。」   「おいのな工夫とのできるとは情で表した。」   「おいのな工夫とのできる。」   「は、日本のでは、日本の時のは、日本のでは、日本の時のは、日本のできるとは、日本のでは、日本の時のは、日本のでは、日本の時のできる。」   「は、日本のでは、日本の時のは、日本のでは、日本の時のは、日本のでは、日本の時のできる。」   「は、日本のでは、日本のできる。」   「は、日本のでは、日本の時のは、日本のでは、日本	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  参画的・参角的に見る  ・	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう  関連付ける   関連付ける   関連付ける   しから考えをまとめることができる。また、職業について関心をできる。とで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。	をとらえ 文化発表会を、多 でとらえ で まって	はないする・抽象化する  はなせるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義ができる。  「異文化の人 多面の「ありがとう」」 の力 の心に見る の心に見る の心にもも、共ににであることを自覚。 「日本のうたの魅力を探ろう」 比較する 曲想を音楽の様性などの関わりにで、、表で、表に、で、表すことができる。  「ののシンボルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考している。 関連付ける・構造化する 計路について、各高校の求めることと 分の適性などを関連づけながら、とと 生き方についての考えを深めること タ 色共に生きる」 「魚の涙」 「魚の湯に見る 神間外れにされた子に対した事を自動の表したになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する はもつにできる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する は他などの音楽文化について、記憶して理解することができる。 スープを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと 製作のための技 タ の ためのりやすさと形や色彩などと なて具を比較することで、安全 ク ことができる。 うか」 するればよいだろうか~	(学級活動 思いやりの気持ちをするよう)	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには の事があるをで演奏するためには 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現で表るとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねば(暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「自分の水生活をよりよくするために、どのようにエ 正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の水生活をよりよくするために、とのようにエ 正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の水生活をよりよくするために、とのようにエ エ・大選がればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 低者との対話や協働により、結果をより多面的・多角的にとらえ、大農を評価・改善すると 材料や縫いた	多面的・多角的にみる 、	2年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       取費・能力       取費・能力       要素作       資質・能力       家庭       思考操作	関連付ける・構造化する	Production   P	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 「夢を諦めない」 見る とりよい 充実しいのを仕事を見つけられず、意なとしていた麻子がしたことについて、ともせる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 「楽文化について、比較しながら考察する活動ではあいまさや美しさを味わって聴くことができます。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 のを仕事にしまっな時間である。 「他彩の基本・仕組み」 分類する するイメージは、普段の生活も必ずるといるともできまれていることを意識させ、色彩の豊活をでいるともの見え方が変化する色彩の対さる。 「本の人としていた麻子が、自分の得意なのをは、できませ、といて、といでできる。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「色にはどのような性質や意味があるのない。」 「もれていることを意識させ、色彩の豊から、は、音楽なれていることを意識させ、色彩の豊からない。」 「あるイメージは、音段の生活もの見え方が変化する色彩の対さる。 「ないまって形の見え方が変化する色彩の対さる。」 「ないまって形の見え方が変化すると彩の対さる。」 「ないまって形の見え方が変化するとの中にある耐いないで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、またで、また	は、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表している。また、他者を含さまができる。また、他者を含さまな学習方法に関心をもち、自己の一方できる。   一大 一枚 の 天気 図	夏季課題  具体化する・抽象化する  「雨の日の昇降口」 夏季課題  参画的・参角的に見る  ・	「学級活動 なぜ、わたしたもは働くのだろう」   関連付ける	をとらえ 文化発表会を、多 でとらえ で まって	はないする・抽象化する  はなせるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義ができる。  「異文化の人 多面の「ありがとう」」 の力 の心に見る の心に見る の心にもも、共ににであることを自覚。 「日本のうたの魅力を探ろう」 比較する 曲想を音楽の様性などの関わりにで、、表で、表に、で、表すことができる。  「ののシンボルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考している。 関連付ける・構造化する 計路について、各高校の求めることと 分の適性などを関連づけながら、とと 生き方についての考えを深めること タ 色共に生きる」 「魚の涙」 「魚の湯に見る 神間外れにされた子に対した事を自動の表したになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する はもつにできる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした歌唱表現 比較する は他などの音楽文化について、記憶して理解することができる。 スープを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと 製作のための技 タ の ためのりやすさと形や色彩などと なて具を比較することで、安全 ク ことができる。 うか」 するればよいだろうか~	(京文よう) 「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」 多面的・多角的にみる というの気持ちのにみる 思いやりの気持ちのについるを認識し、 多面的・多角的についる ションの取り方につきる。 にいちばん高い値段の絵」 か・多角的に見る 友達は、一ションのよりできる。 たますることができる。 たまずないのできる。 たまりいっそも意味である。 はいっともできないのできまさせる。 たまりいっそも高められて、一方できる。 にて、はっしいの吐き方やタンエ夫するとができる。 「調和のとれた美しさとは何か」 (広がる模様の世界、行いのできる。 「調和のとれた美しさとは何か」 (広がる模様の世界、近近ののよう深いながら漢奏のエス・ギャンのできる。 「調和のとれた美しさとは何か」 (広がる模様の世界、近ののように、伝える の調和を考した。 大きとして、表現することができる。 「利本の伝統文様や着物の柄な彩のもように、ないようにないないないで、 登工夫して表現することができる。 もじ 比較する 世 中 本の伝統文様できる。 「「日分の次半洋をよりようにないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには の事があるをで演奏するためには 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現で表るとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねば(暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「自分の水生活をよりよくするために、どのようにエ 正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の水生活をよりよくするために、とのようにエ 正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の水生活をよりよくするために、とのようにエ エ・大選がればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 低者との対話や協働により、結果をより多面的・多角的にとらえ、大農を評価・改善すると 材料や縫いた	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解  具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関れ      できる。      できるための布を用いた製作について、資源やできる。      できるための布を用いた製作について、資源やできる。      できるための布を用いた製作について、資源やできる。      できるための布を用いた製作について、資源やできる。      できるための布を用いた製作について、資源やできる。      できるための存を見います。      できるを関連付ける・      できる。      できる。	2 年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       財務       思考・能力       財務       要質・能力       要素の表表の共通をしたができる。       要素操作       事業       事業 <t< td=""><td>関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ</td><td>  Family   Family  </td><td>画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 一ででするについ 一見る よりよい 充実し ことについ 一見る なりまい人では一次でではられず、できなしたについて、 を指くことは好きだったが、ず、のを仕事にしようとしたことについて、 をでいて、比較しながら考察する活動が、のを仕事にしような性質や意味があるのない。 「歌曲の魅力とは?」 上較する が変の体について、比較しながら考察する活動が、 曲のよさや美しさを味わって聴くことができないできる。 「もにはどのような性質や意味があるのない。 (色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、音楽のの生活でも彩の豊かでの見え方が変化する色彩の要されていることを意識させ、色彩の豊かるをいまる。 「おから見る」と較する 構造化 プラスチックなどの材料について、それぞれることで、身の回りの製品や社会の中にある耐きない。 関連付ける・構造化では、住まい方を関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造を対象とができる。 といて、関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造を対象とができる。</td><td>は、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表している。また、他者を含さまができる。また、他者を含さまな学習方法に関心をもち、自己の一方できる。   一大 一枚 の 天気 図</td><td>夏季課題</td><td>「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  酸く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で自己の考えをまとめることができる。また、戦薬について関心をべることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬についてはり樹里は多面的・多角的に見る無い松度づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。  「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。  「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か思うとはできる場合になる場所やものを見つけ、形や色形のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。  「問題解決の手順を表現を見いたに関連付けることによって環境を変することができるの検に関わるに関するととによって環境を変することができる会がに関連付けることによって環境を変することができる。  「お着の変沢や手入れについて、快適性や環境への配慮など多面的が課題を設定し、自分の衣生活をユナ、快適性や環境への配慮など多面的が課題を設定し、自分の衣生活をユナする「衣生活長村もプロジェ</td><td>をとらえ 文化発表会を、 文化 発表会える</td><td>はないする・抽象化する のさせるために、具体的なスローガ機ないできる。 の分の「ありがとう」」 の角的に見る の心にできる。 の分の「ありがとう」」 の角的に見る の心にできる。 のかいにできる。 のかいにできる。 のかいたも、共には、でのようたの魅力を探ろう」 と一致ができる。 のができる。 のができる。</td><td>「学級活動 中学校卒業後の自分を考り関連付ける・構造化する計算を行いて、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、とと、人と生き方についての考えを深めること、人と共に生きる」 「魚の涙」 多面的・多角的に見る を関連したのできるなどをできる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいで考える。」 上教する ときになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいできる。」 「アジを形や色彩で伝える」 と前を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと サイカ・リンカ・サーンを形や色彩などと サーカ・リンカ・サーション・サーカ・リンカ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・</td><td>「学級活動 思いやりの気持ちをすてよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大型される。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 にいちばん高い値段の絵引 か・多角的に見る な連は、人生を豊かにするなら、 ができる。 ない存在である。人性を音かにしてある互際を検生 のがある。とは?」 になる。人性を音がい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」</td><td>  名字課題   名字課題   名字   注   表字   表字</td><td>「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する由について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を関わる生態に、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ (暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 集生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 「自分の本生活をよりよりを発性に着目し、組立てるこができる。 「自分の本生活をよりよりを発生によった。」 「本来実践すればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「主持の本生活を豊かに対象の対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果を非りを通し、 は活を豊かに対象の対話にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「本報報により、表現をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。</td><td>多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・</td><td>2年生になる自分」</td></t<>	関連付ける・構造化する 学級の一員として、互いの意見を尊重し、そ	Family	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で 一ででするについ 一見る よりよい 充実し ことについ 一見る なりまい人では一次でではられず、できなしたについて、 を指くことは好きだったが、ず、のを仕事にしようとしたことについて、 をでいて、比較しながら考察する活動が、のを仕事にしような性質や意味があるのない。 「歌曲の魅力とは?」 上較する が変の体について、比較しながら考察する活動が、 曲のよさや美しさを味わって聴くことができないできる。 「もにはどのような性質や意味があるのない。 (色彩の基本・仕組み) 分類する するイメージは、音楽のの生活でも彩の豊かでの見え方が変化する色彩の要されていることを意識させ、色彩の豊かるをいまる。 「おから見る」と較する 構造化 プラスチックなどの材料について、それぞれることで、身の回りの製品や社会の中にある耐きない。 関連付ける・構造化では、住まい方を関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造を対象とができる。 といて、関連付ける・構造化では、は、はまい方を関連付ける・構造を対象とができる。	は、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表している。また、他者を含さまができる。また、他者を含さまな学習方法に関心をもち、自己の一方できる。   一大 一枚 の 天気 図	夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  酸く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で自己の考えをまとめることができる。また、戦薬について関心をべることで、さまざまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬について関心をできる。また、戦薬についてはり樹里は多面的・多角的に見る無い松度づえの子に話しかけたくでも勇気の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。  「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける  混声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関うや曲想を生かした表現を工夫することができる。  「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か思うとはできる場合になる場所やものを見つけ、形や色形のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。  「問題解決の手順を表現を見いたに関連付けることによって環境を変することができるの検に関わるに関するととによって環境を変することができる会がに関連付けることによって環境を変することができる。  「お着の変沢や手入れについて、快適性や環境への配慮など多面的が課題を設定し、自分の衣生活をユナ、快適性や環境への配慮など多面的が課題を設定し、自分の衣生活をユナする「衣生活長村もプロジェ	をとらえ 文化発表会を、 文化 発表会える	はないする・抽象化する のさせるために、具体的なスローガ機ないできる。 の分の「ありがとう」」 の角的に見る の心にできる。 の分の「ありがとう」」 の角的に見る の心にできる。 のかいにできる。 のかいにできる。 のかいたも、共には、でのようたの魅力を探ろう」 と一致ができる。 のができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考り関連付ける・構造化する計算を行いて、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、とと、人と生き方についての考えを深めること、人と共に生きる」 「魚の涙」 多面的・多角的に見る を関連したのできるなどをできる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいで考える。」 上教する ときになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいできる。」 「アジを形や色彩で伝える」 と前を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと サイカ・リンカ・サーンを形や色彩などと サーカ・リンカ・サーション・サーカ・リンカ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・	「学級活動 思いやりの気持ちをすてよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大型される。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 にいちばん高い値段の絵引 か・多角的に見る な連は、人生を豊かにするなら、 ができる。 ない存在である。人性を音かにしてある互際を検生 のがある。とは?」 になる。人性を音がい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	名字課題   名字課題   名字   注   表字   表字	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する由について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を関わる生態に、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ (暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 集生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 「自分の本生活をよりよりを発性に着目し、組立てるこができる。 「自分の本生活をよりよりを発生によった。」 「本来実践すればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「主持の本生活を豊かに対象の対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果を非りを通し、 は活を豊かに対象の対話にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「本報報により、表現をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・	2年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       財務       思考・能力       財務       要質・能力       要素の表表の共通をしたができる。       要素操作       事業       事業 <t< td=""><td>関連付ける・構造化する</td><td>  「</td><td>画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的にみる。 良さを多面的・多角的にみる。 りよい人間関係を構築での交流を通して、管理の在り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の表についい。 見る</td><td>ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者は考さまな学習方法に関心をもち、自己のままな学習方法に関心をもち、自己の表も方法に関心をもち、自己の表も方法に関心をもち、自己の表ものである。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見るに対してある。 ながもつ探究心についての考えを対しているか。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律とのがかわりにしょる旋律の雰囲りの違いに気づき、詩の内容を味わいる。 「備別と工夫を分のの意図と工夫を分の方となりできる。」「「おれている人やの意図と工夫を多の変化による旋律の存むに関連となると表を分かられるものや特別できると表を分かられるものや特別できると表を対して、協会に対して、機会の中を力がに対して、協会を理解することができる。」 「問題解決の手」 「問題解決の手」 「関連付ける 具体化するなどを対して、協会の中を対して、協会の中を対して、協会の中を対して、協会の中に関連を表して、協会に対して、協会の対して、協会の中に対して、協会の中に対して、協会の中に対して、協会のの中に対して、協会の方のではなどのできる。」 「関連付ける 具体化するなどのようのにより、これまでのようによりにはいて、自動が対して、自動が対して、協会の対して、自動が対して、自動が対して、は他のようのでは、はいて、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動を対し、自動を対して、自動を対し、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対し、自動を対して、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対し、自動を対</td><td>夏季課題</td><td>「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  動く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義でも自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をべることで、さまぎまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、職業について関心をべることができる。また、職業について関心をでることができる。また、職業について関心をできる。  「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る」を動成の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける。 環声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関いや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か表のと、個別できるといて考えさせる。 「現本会社のに重要なことは何か表の関連付ける・構造化する。」 「おい空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か表のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。 「問題解決の手順を関連付ける、具体化する製作品について、機能であ、自分なりの新しい考え方や観え方ができるようになるの技術に関わる問題を見いたに関連付ける。具体化する。  「問題解決の手順に関わる関連を見いたに関連付ける、具体化する製作品について、機能であ、自分なりの新しい考え方や観え方ができるようになるの技術に関わる問題を見いたによって構造を設することができる。  「常着の進訳や手入れについて、快速性や環境への配慮など多面的か深速を設定し、自分の衣生活を工夫する「故生活長持ちプロジェ、奇数組:パレー/偶数組:陸上</td><td>をとらえ マンキを要する こと 大きをもって マンキを 要する こと 大きを を まる ない</td><td>具体化する・抽象化する  助させるために、具体的なスローガ義ができる。  回分の「ありがとう」」  多角的に見る 心心にできるとを自覚ができる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する 曲想と音楽の構造や背景などのについて、大変であることができる。  「印象に発することができる。  「印象に残るシンボルマ主題を強いて、実対のことができる。  「の回りのかなどがらきる。  「の回りのかなどができる。  「イメンと関系を生まれる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、「なんである」  「なった、表すことができる。  「なった、表すこと、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま</td><td>「学級活動 中学校卒業後の自分を考してする・構造化する 対路について、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、こと (本と共に生きる) 「魚の涙」 「漁の涙」 「漁の涙」 「漁の涙」 「漁の湯のに見る 多面に、他国の人々と共生 (考えさせるときには、からはでするととになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした軟電表現 比較する とができる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした軟電表現 と前を通して理解することができる。 などがもので伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもととが出し、わかりやすさと形や色彩などと 集集作のための技 を な工具を比較することで、安ごうことができる。 つか」 「おればよいだろうか〜 社会の現状と関連付け、長く快適に衣服を着るいンドボール/偶数組:器械運動 「アジアルー/偶数組:器械運動</td><td>「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」</td><td>  名</td><td>「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、類 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を表とともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれば暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「世界のための技能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「自分の女生派をよりよくするために、そのように工作、実践を対して、これ、これできる。」 「直分の女生派をよりよくするために、とのように工作、実践を対しているように表現のに見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の女生派をよりよくするために、とのように工作、実践を対しているように、また、実践を評価・改善することができる。」 「衣服</td><td>多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・</td><td>2年生になる自分」</td></t<>	関連付ける・構造化する	「	画的・多角的にみる 良さを多面的・多角的にみる。 良さを多面的・多角的にみる。 りよい人間関係を構築での交流を通して、管理の在り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の交流を通り方を自分の表についい。 見る	ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者は考さまな学習方法に関心をもち、自己のままな学習方法に関心をもち、自己の表も方法に関心をもち、自己の表も方法に関心をもち、自己の表ものである。  「六十二枚の天気図」  多面的・多角的に見るに対してある。 ながもつ探究心についての考えを対しているか。 「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律とのがかわりにしょる旋律の雰囲りの違いに気づき、詩の内容を味わいる。 「備別と工夫を分のの意図と工夫を分の方となりできる。」「「おれている人やの意図と工夫を多の変化による旋律の存むに関連となると表を分かられるものや特別できると表を分かられるものや特別できると表を対して、協会に対して、機会の中を力がに対して、協会を理解することができる。」 「問題解決の手」 「問題解決の手」 「関連付ける 具体化するなどを対して、協会の中を対して、協会の中を対して、協会の中を対して、協会の中に関連を表して、協会に対して、協会の対して、協会の中に対して、協会の中に対して、協会の中に対して、協会のの中に対して、協会の方のではなどのできる。」 「関連付ける 具体化するなどのようのにより、これまでのようによりにはいて、自動が対して、自動が対して、協会の対して、自動が対して、自動が対して、は他のようのでは、はいて、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動が対して、自動を対し、自動を対して、自動を対し、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対し、自動を対して、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対し、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対して、自動を対し、自動を対	夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」 関連付ける  動く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義でも自己の考えをまとめることができる。また、職業について関心をべることで、さまぎまな進路情報と関連付け、整理することができる。また、職業について関心をべることができる。また、職業について関心をでることができる。また、職業について関心をできる。  「父の言葉」 「やっぱり樹里に多面的・多角的に見る」を動成の出ない自分を認め、話しかける決心をつけられた「私」の心の変化について考えさせる。 「混声合唱の魅力とは?」 関連付ける。 環声合唱について、曲の構成に着目し、ふさわしい歌い方を考やフレーズの関係を理解し、曲想と音楽の構造や背景などと関いや曲想を生かした表現を工夫することができる。 「光や空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か表のと、個別できるといて考えさせる。 「現本会社のに重要なことは何か表の関連付ける・構造化する。」 「おい空気を感じさせる風景画を描くために重要なことは何か表のし、画材の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表すことができる。 「問題解決の手順を関連付ける、具体化する製作品について、機能であ、自分なりの新しい考え方や観え方ができるようになるの技術に関わる問題を見いたに関連付ける。具体化する。  「問題解決の手順に関わる関連を見いたに関連付ける、具体化する製作品について、機能であ、自分なりの新しい考え方や観え方ができるようになるの技術に関わる問題を見いたによって構造を設することができる。  「常着の進訳や手入れについて、快速性や環境への配慮など多面的か深速を設定し、自分の衣生活を工夫する「故生活長持ちプロジェ、奇数組:パレー/偶数組:陸上	をとらえ マンキを要する こと 大きをもって マンキを 要する こと 大きを を まる ない	具体化する・抽象化する  助させるために、具体的なスローガ義ができる。  回分の「ありがとう」」  多角的に見る 心心にできるとを自覚ができる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する 曲想と音楽の構造や背景などのについて、大変であることができる。  「印象に発することができる。  「印象に残るシンボルマ主題を強いて、実対のことができる。  「の回りのかなどがらきる。  「の回りのかなどができる。  「イメンと関系を生まれる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、「なんである」  「なった、表すことができる。  「なった、表すこと、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	「学級活動 中学校卒業後の自分を考してする・構造化する 対路について、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、こと (本と共に生きる) 「魚の涙」 「漁の涙」 「漁の涙」 「漁の涙」 「漁の湯のに見る 多面に、他国の人々と共生 (考えさせるときには、からはでするととになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした軟電表現 比較する とができる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しい響きを生かした軟電表現 と前を通して理解することができる。 などがもので伝える」ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもととが出し、わかりやすさと形や色彩などと 集集作のための技 を な工具を比較することで、安ごうことができる。 つか」 「おればよいだろうか〜 社会の現状と関連付け、長く快適に衣服を着るいンドボール/偶数組:器械運動 「アジアルー/偶数組:器械運動	「学級活動 思いやりの気持ちを育てよう」	名	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、類 としての自覚を深めるために、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を表とともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれば暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「世界のための技能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「自分の女生派をよりよくするために、そのように工作、実践を対して、これ、これできる。」 「直分の女生派をよりよくするために、とのように工作、実践を対しているように表現のに見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の女生派をよりよくするために、とのように工作、実践を対しているように、また、実践を評価・改善することができる。」 「衣服	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・	2年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       財務       思考・能力       財務       要質・能力       要素の表表の共通をしたができる。       要素操作       事業       事業 <t< td=""><td>関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する のような関連づけながら、よりよい学級目標に のいて考え、理由を示して意見を述べること ができる。  著画的・多角的に見る 「應を確す」という「つの世界中に対し できまざな立場の人から、多様な反対 があったことを見えきま、いろいろなちでき、は別よりも人とじなでもれたでの耐のの見力や考え方があることを実認させる。 「音楽とは?」 「説と、学園の連定や情景など物質をでき、は別よりも人とじのでれぞれの耐容が高さら書楽表したのとかりについて問題に、自動と、発展の地方とでできる。 「意と、共和の地方との情報など物質とついて問題ではだら、音楽文化について問題ではだら、音楽文化について問題ではだら、音楽文化について問題ではだり、音楽文化について問題などできる。 「表現の魅力は何か。」 (見力や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 作品を含まるとおして、好かれているものである。 「表現の魅力は何か。」 (見力や感じ方を広げよう) 多面的を感じ取り、いから多度、の表記ら本工夫などを考え、人間とは、アラウスがあるデザインされた文字ができる。  生活や社会における技術の役割  本生活や社会における技術の役割  事面的に見る・多角的に見る 関連付ける 関連付ける 関連の対する、表現の通路に発見して新聞きるとかできる。  生活や社会における技術の役割  事が知るといいの表示のより、まずの最初な技術が対対対が発展したととからだ。その情報が適時されていることができる。 「中学生として家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連がけて考えることが表現と、どのようにかかわっていけばよい関連が付ける・構造化する 自分の成長と家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連付ける・構造化する 自分の成長と家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連付ける  体でくり運動</td><td>  Family   Family  </td><td>面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で でですったがとない。 見る よりよい 充実し たことについ のを仕事にしようとしない。 を対したことについ のを仕事にしようとしたのようかできる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 所楽文化について、比較しながら考察する活き。 「窓の構造や背景などの関わり及び音楽の多様情楽文化について、とを味わって聴くことができる。 「歌曲のよさや美しさを味わって聴くことができる。 「会にはどのような性質や意味があるのたで、(色彩の基本・仕組み)の分類では、音楽文化について、とでであるのなど、とがの思え方が変化する色彩の数するイメージは、音楽の生活でも彩の要素がある。 は、音楽文化について、それぞれである。といるとのでは、できる。。 は、音楽文化でからないで、それぞれである。というなどの関連では、色彩の要素が変化である。というなどの関系を表が変化する色彩の数するイメージは、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽で</td><td>は、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表している。また、他者を含さまができる。また、他者を含さまな学習方法に関心をもち、自己の一方できる。   一大 一枚 の 天気 図</td><td>夏季課題</td><td>  「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」   関連付ける</td><td>をとらえ マンキを要する こと 大きをもって マンキを 要する こと 大きを を まる ない</td><td>具体化する・抽象化する  助させるために、具体的なスローガ義ができる。  回分の「ありがとう」」  多角的に見る 心心にできるとを自覚ができる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する 曲想と音楽の構造や背景などのについて、大変であることができる。  「印象に発することができる。  「印象に残るシンボルマ主題を強いて、実対のことができる。  「の回りのかなどがらきる。  「の回りのかなどができる。  「イメンと関系を生まれる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、「なんである」  「なった、表すことができる。  「なった、表すこと、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま</td><td>「学級活動 中学校卒業後の自分を考り関連付ける・構造化する計算を行いて、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、とと、人と生き方についての考えを深めること、人と共に生きる」 「魚の涙」 多面的・多角的に見る を関連したのできるなどをできる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいで考える。」 上教する ときになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいできる。」 「アジを形や色彩で伝える」 と前を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと サイカ・リンカ・サーンを形や色彩などと サーカ・リンカ・サーション・サーカ・リンカ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・</td><td>「学級活動 思いやりの気持ちをすてよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大型される。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 にいちばん高い値段の絵引 か・多角的に見る な連は、人生を豊かにするなら、 ができる。 ない存在である。人性を音かにしてある互際を検生 のがある。とは?」 になる。人性を音がい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」</td><td>  名字課題   名字課題   名字   注   表字   表字</td><td>「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する由について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を関わる生態に、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ (暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 集生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 「自分の本生活をよりよりを発性に着目し、組立てるこができる。 「自分の本生活をよりよりを発生によった。」 「本来実践すればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「主持の本生活を豊かに対象の対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果を非りを通し、 は活を豊かに対象の対話にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「本報報により、表現をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。</td><td>多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・</td><td>2年生になる自分」</td></t<>	関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する 関連付ける・構造化する のような関連づけながら、よりよい学級目標に のいて考え、理由を示して意見を述べること ができる。  著画的・多角的に見る 「應を確す」という「つの世界中に対し できまざな立場の人から、多様な反対 があったことを見えきま、いろいろなちでき、は別よりも人とじなでもれたでの耐のの見力や考え方があることを実認させる。 「音楽とは?」 「説と、学園の連定や情景など物質をでき、は別よりも人とじのでれぞれの耐容が高さら書楽表したのとかりについて問題に、自動と、発展の地方とでできる。 「意と、共和の地方との情報など物質とついて問題ではだら、音楽文化について問題ではだら、音楽文化について問題ではだら、音楽文化について問題ではだり、音楽文化について問題などできる。 「表現の魅力は何か。」 (見力や感じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 作品を含まるとおして、好かれているものである。 「表現の魅力は何か。」 (見力や感じ方を広げよう) 多面的を感じ取り、いから多度、の表記ら本工夫などを考え、人間とは、アラウスがあるデザインされた文字ができる。  生活や社会における技術の役割  本生活や社会における技術の役割  事面的に見る・多角的に見る 関連付ける 関連付ける 関連の対する、表現の通路に発見して新聞きるとかできる。  生活や社会における技術の役割  事が知るといいの表示のより、まずの最初な技術が対対対が発展したととからだ。その情報が適時されていることができる。 「中学生として家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連がけて考えることが表現と、どのようにかかわっていけばよい関連が付ける・構造化する 自分の成長と家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連付ける・構造化する 自分の成長と家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい関連付ける  体でくり運動	Family	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 表えたことを伝え合 りよい人間関係を構築で でですったがとない。 見る よりよい 充実し たことについ のを仕事にしようとしない。 を対したことについ のを仕事にしようとしたのようかできる。 「歌曲の魅力とは?」 比較する 所楽文化について、比較しながら考察する活き。 「窓の構造や背景などの関わり及び音楽の多様情楽文化について、とを味わって聴くことができる。 「歌曲のよさや美しさを味わって聴くことができる。 「会にはどのような性質や意味があるのたで、(色彩の基本・仕組み)の分類では、音楽文化について、とでであるのなど、とがの思え方が変化する色彩の数するイメージは、音楽の生活でも彩の要素がある。 は、音楽文化について、それぞれである。といるとのでは、できる。。 は、音楽文化でからないで、それぞれである。というなどの関連では、色彩の要素が変化である。というなどの関系を表が変化する色彩の数するイメージは、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽では、音楽で	は、わたしたちが学ぶこと」    本化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に表している。また、他者を含さまができる。また、他者を含さまな学習方法に関心をもち、自己の一方できる。   一大 一枚 の 天気 図	夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」   関連付ける	をとらえ マンキを要する こと 大きをもって マンキを 要する こと 大きを を まる ない	具体化する・抽象化する  助させるために、具体的なスローガ義ができる。  回分の「ありがとう」」  多角的に見る 心心にできるとを自覚ができる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する 曲想と音楽の構造や背景などのについて、大変であることができる。  「印象に発することができる。  「印象に残るシンボルマ主題を強いて、実対のことができる。  「の回りのかなどがらきる。  「の回りのかなどができる。  「イメンと関系を生まれる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、様くないできる。  「な方法でおいて、「なんである」  「なった、表すことができる。  「なった、表すこと、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、表すにないたがにないた。また、また、表すにないたがにないた。また、表すにないた。また、表すにないた。また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、また、ま	「学級活動 中学校卒業後の自分を考り関連付ける・構造化する計算を行いて、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、とと、人と生き方についての考えを深めること、人と共に生きる」 「魚の涙」 多面的・多角的に見る を関連したのできるなどをできる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「日本語の美しになる。」 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいで考える。」 上教する ときになる。 「アジアの音楽とは?」 「日本語の美しいできる。」 「アジを形や色彩で伝える」 と前を通して理解することができる。 スージを形や色彩で伝える」 ンボルマーク、発想・構想の手立て) 関連付ける・構造化する 鑑賞し、形や色彩から受ける印象をもとと サイカ・リンカ・サーンを形や色彩などと サーカ・リンカ・サーション・サーカ・リンカ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・カ・	「学級活動 思いやりの気持ちをすてよう」 多面的・多角的にみる 思いやりの気持ちの大型される。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 思いやりの気持ちの大型できる。 にいちばん高い値段の絵引 か・多角的に見る な連は、人生を豊かにするなら、 ができる。 ない存在である。人性を音かにしてある互際を検生 のがある。とは?」 になる。人性を音がい。 「アルトリコーダーの魅力とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」 とは?」	名字課題   名字課題   名字   注   表字   表字	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには、題材 しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する由について、音楽表現に関わる知識 技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を関わる生態に、自分なりの思いや意図を伝える演奏とるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねれ (暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 集生活の中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え 切に使いながら表現することができる。 「自分の本生活をよりよりを発性に着目し、組立てるこができる。 「自分の本生活をよりよりを発生によった。」 「本来実践すればよいだろうか」 多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「主持の本生活を豊かに対象の対話や診慮により、結果をより多面的・多角的にみる 他者との対話や診慮により、結果を非りを通し、 は活を豊かに対象の対話にとらえ、実践を評価・改善することができる。  「本報報により、表現をより多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。      や自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関れ を通して考えたことを具体化・	2年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       取費・能力       取費・能力       要素作       資質・能力       家庭       思考操作	関連付ける・構造化する	Sample	画の・多角的にみる良さを多面的・多角的にみる良さを多面的・多角的にみるりよい人間関係を構築で「夢を諦めない」  夏る	ま、わたしたちが学ぶこと」  全体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者をきまな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の主きな学習方法に関心をもち、自己の手物に改善できる。  「六十二枚の天気図」 多面的・多角的に見る な好奇心をもってり、真実を求めて行動する。 大公の姿を自分自身に重ね合わせたり、「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」」 多面的・多角的に見る 性を 例の違いに気づき、詩の内容を味わいながら現を工夫して歌唱することができる。 第四的・多角的に見る 性を 例の違いに気づかせ、 の意図と工夫して歌唱することができる。 第四的・多角的に見 は関則性に気づかせ、 の意図とエ夫との影からに見 は関則性に気づかせ、 の意図とエとをすると、	夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたもは働くのだろう」   関連付ける	をとらえ 文化発表会え、こと 大きを を まする こと は かっと は かっと は かっと は かっと は かっと は かっと な がっと と で いっと がっさ せ かっさ で いっと で がった で いっと で がっから 主題を 生み かって さ がった は に な 服を 快 の 制約 がった は がった で まる まる は で で まる な に 、 生活の 中 から 対 な な に な 服 を 快 服 の 選 境 に 配慮 し て と 短 距 で は の は な 家 で は る の で まる な な な な な な な な な な な な な な な な な な	はないする には、どのようにすればよいださん はいだり、他者からのアド はなができる。	「学級活動 中学校卒業後の自分を考してする・構造化する・構造化する・構造化する・動路について、各高校の求める生人、生き方についての考えを深めること  「魚」の適性などを関連づけながら、とと、大々と共に生きる」 「魚の涙」「漁のぶ」「漁のぶ」「漁のでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	「学級活動 思いやりの気持ちをではよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」 あ・多角的に見る 友達は、人生を量かにするかけが入れる。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。 のまたきできる。 「アルトリコーダーの脳力とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を表るときに、自分なりの思いや意図を伝える演奏をあまった表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねて(暮らしの中の木間を、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「自分の水がら表現することができる。 「自分の水は海により、谷田のの大き、田のの大き、別に使いながら表現することができる。」 「自分の水は海により、谷田のの大き、一方できる。」「自分の水は海により、谷田のの大き、一方できる。」「自分の水は海により、谷田のの大き、「水が田のような」」 「本版できる。」「自分の水は海により、谷田のから、大き取りに見るできる。」「本取りに見るできる。」「本取り、谷田のの大き、「大き取り、日田のの大き、「大き取り、日田の水は海により、全世に着目し、組立てることができる。」 「本版の水は海により、谷田のの大き、「大き取りを変的・多角的にみる」 「本版のは、大き取りを変的・多角的にみる」 「本版の水は海により、金田の・多角的にみる」 「本版の水は海により、金田の・多角的にみる」「本版の水は海により、東側により、田のの大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大	多面的・多角的にみる 自分の良さや個性を多面的に捉え、 わしい生き方や職業を関連付けて考 。 できる。 か自然、崇高なものの理解」 具体化・抽象化する 高いもの、崇高なものとの関われる表現とは 関連付ける を業式歌について、歌詞の内容に着自し、 このイメージと関連付ける を業式歌について、歌詞の内容に満声 3 部 生かし、思いが伝わる表現を工夫すること 描えたデザインとは」 の工芸) 造化する の持つ温かさや感触に気づ の表現を工夫すること されからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物育成の技術 関連付ける と と加工の技術 物育成の技術 関連付ける と とがに、対象を提供、関連付ける と を記して考えたとなりまる。 これからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物質連付ける と とがに、対象を提供、関連付ける と を記して表してがまる。 を計画的に活用するためには、	2年生になる自分」
資質・能力       道徳       思考操作       資質・能力       音楽       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       思考操作       資質・能力       財務       思考・能力       財務       思考・能力       要要の提供       事業       財務       要等       事業       財務       事業       事業   <	学級の一員として、互いの意見を夢重し、それらを関連づけながら、よりよい学級目標についてきる。  「席をゆずったけれど」 多面的・多角的に見る 「深を認え」という一つの山来戸に対してきまざまならととなったとを捉え方があることを実践させた。 「別りましましましたいのが見るを操作でにいたの見元をある人ができる。 「常楽とは?」 「関連付ける 「言来をおすな方があることを実践させた。 「別りましましましました」について表現する。 「音楽とは?」 「別域し方となる人は関係を変ける学療学園とは、はながら、音楽化しついて博響しているの情報を関するには、イメージを広げながら数は、はながら、音楽化しついて博響しているの情報を関するとというできる。 「表現の動力は何か。」(原介や成じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 「表現の動力は何か。」(原介や成じ方を広げよう) 多面的・多角的に見る 「本現の動力は何か。」 「思想の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「表現の動力は何か。」 「本現の動力は何からの情や表現意思ないるがある。というにあるデザインされた大変学の表現。 アルカンとの関わりを理解することができる。  生活や社会にわける技術の役割 「本学・社会における事業と、社会の適合や理解することができる。  生活や社会における事業と、社会の過音や遅れていることながよる。 「中学生として家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい表面はでなることができる。 「中学生として家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい表面はでは入ることができる。 「中学生として家族や地域と、どのようにかかわっていけばよい表面はでなんることができる。 「中学生として家族や地域と、このようにかかわっていけばよい表面はついて、第カ・協働またの経験や家庭生活と表面付けて、これからの家庭生活をよう法について考え、その企画をワークシートにまとめることが体の関連付ける。 「中学生として家族や地域とのつながりについて、第カ・協働またとが表面について考え、その企画をワークシートにまとめることが体のでは一般では近れる発展といることが体のでは、またとのでは、まれなどのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またとのでは、またと	Sample	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的に 、考えたことを伝え合りよい人間関係を構築で 一で」	ま、わたしたちが学ぶこと」    体化する・抽象化する   として捉え、将来を見通して自己の生き方に考え、まとめることができる。また、他者できまな学習方法に関心をもち、自己の主きできる。   「六十二枚の天気図」   多面的・多角的に見る  多角的に見る  多面ので変をもついる。   多面ので変がして、多面ので変がして、多面ので変がして、ないるか。   「情景がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」」   多面的・多角的に見る  な合相と旋律との参の内容を味わいる。   「横関が毛を変がして、る旋律のがある。」   「横関や色彩が見る。   では、気づき、気がして、気がもついま、気がき、の内容を味わいる。   「横関的で色彩が見る。」   「大力の治療できるの内容を味わいて、変に、気がら、変に、気がら、表の内できる。」   「大力の治療できる。」   「大力の治療できる。」   「大力の治療できる。」   「大力の治療できる。」   「大力の治療を表して、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、変に、	夏季課題  具体化する・抽象化する  「爾の日の昇降口」 夏季課題  「爾の日の昇降口」 夏季課題  参離的・多角的に見る 対応の大可発標の即り版 さる、資外の問題をおいた。 は、調査のう かに自分が出まれていた。 は発育できる。この心に関  夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう  具体化する・抽象化する  具体化する・抽象化する  具体化する・抽象化する  現本化する・抽象化する  夏季課題 夏季課題 夏季課題 夏季課題 夏季課題 夏季課題 夏季課題  夏季課題 夏季課題	「学級活動 なぜ、わたしたちは働くのだろう」   関連付ける	をとらえ マンキ (大きを) では、多いでは、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) ででから、 (大きな) でできるが、 (大きな) でできる。 (大きな) でできるが、 (大きな) できるが、 (大きな) できなが、 (大きな) できなが	は本化する・抽象化する  切させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。  回分の「ありがとう」」  列角的に見る の心にの者えきには、自覚であることを自覚であることをの構造でとのできる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する はと音楽の構造でどの宗さる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考してする・構造化する 関連付ける・構造化する 対路について、各高校の求めるとと 人と 生き方についての考えを深めること 「魚の涙」「流の海側の人々と共生で考えさせるときには、からに動できる。」 「日本語の美しい世をとかていてきれる はっことの大切とかないことの大切とかないできる。」 「アジアの音楽とは?」「日本語の美しい世を生かした歌唱表現上、世校する 地想と音楽の構造や背景などの関わり及るとができる。」 アジアの音楽とは?」「日本語の美しい世を生かした歌唱表現上、一般できる。」 アジアの音楽とは?」「日本語の美しい世をないできる。」 アジアの音楽とは?」「日本語の美しい世校することができる。」 アジアの音楽とは?」「日本語の美しい世校することができる。」 アジアの音楽とは?」「日本語の美化について、対していまる。」 などの書できる。 「アジを形や色彩で伝える」 とができる。 「アジを形や色彩などとがで伝える」 とができる。 「アジを形や色彩などの関連付ける・構造化する」 とができる。 ないまし、おりいましたでは、横波を通り返る。 「ないましたでは、解文を知識では、たいだろうか~ 社会の現状と関連付け、長く快適に衣服を着る ないりに、地域では、解文を知識では、日本の利益によいだろうか~ 社会の現状と関連付け、長く快適に衣服を着る 多面的・多角的にみる 多面的・多角的にみる 多面的・多角的にみる 多面的・多角的にみる ないしたでは、解文を知識では、日本の利益によいだちでは、解文を知識では、日本の利益によいだった。 日本の利益によいないる。 「本の利益によいないる」 「本の利益によいないる。 「本の利益にないる。 「本の) 「本の利益にないる。 「	「学級活動 思いやりの気持ちをではよう」 多面的・多角的にみる 像などと自間としてのができる。 思いやりの気持ちの大切さを認識し、多角的について考え、実践することができる。  紙芝居」 「いちばん高い値段の絵」 あ・多角的に見る 友達は、人生を量かにするかけが入れる。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いな在である。人間である。 いなをもさる。 「アルトリコーダーの脳力とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるために、題材しようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する由について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、曲にふさわしい音楽表現を関えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏をるように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねな(暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いための技能と美しさなどがありた。、用途や機能と美しさなどがありた。表現することができる。 「自分の次生経をよりよくするために、そのように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の次生経をよりよくするために、そのように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の次生経をよりよくするために、そのように」「衣服を着からからきる。」「本、実践を評価・改善することができる。 「自分の次生経をより、経過を表し、表が関連を通して、我が関連を表して、我にないまた。	多面的・多角的にみる 。 自分の良さや個性を多面的に捉え、 。 わしい生き方や職業を関連付けて考。 。 できる。  おや自然、崇高なものの理解」  具体化・抽象化する 、高いもの、崇高なものとの関われる表現とは? 関連付ける を選式歌について、歌詞の内容に着声し、窓のイメージと関連付けながら、混声の音を記して考えたことを具体化・ できる。  「思いが伝わる表現を工夫すること 構えたデザインとは」 の工芸) 造化する のけった影が伝わる表現を工夫すること にの工芸) 造化する のけったが伝わる表現を工夫すること にの工芸) 造化する のは、思いが伝わる表現を工夫すること にの工芸) 造化する のは、これからの材料 生活や社会と生と加工の技術 物育成の技術 関連付ける 関連付ける と 地に対しては、変などのできる。 を計画的に活用するためには、 へ衣服をリメイク 関連付ける・構造するための布を用いた製作について、資源で表別を記してはまでもないませ、第二・規則の生り売らことができる。  「ドミントン 奇数組: 剣	2 年生になる自分」
<ul> <li>資質・能力</li> <li>道徳</li> <li>思考操作</li> <li>資質・能力</li> <li>音楽</li> <li>思考操作</li> <li>資質・能力</li> <li>基準のか。」</li> <li>実施科の投業で学ぶのか。」</li> <li>現実ができる。</li> <li>技術</li> <li>思考・能力</li> <li>なができる。</li> <li>技術</li> <li>思考・能力</li> <li>なができる。</li> <li>基準の中のにとなったとができる。</li> <li>技術</li> <li>のを発達してつながるかられるの大型をよができる。</li> <li>技術</li> <li>思考・能力</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保健</li> <li>保</li> </ul>	国連付ける・構造化する   関連付ける・構造化する   関連付ける・構造化する   関連付ける・成   関連付ける・成   関連付ける・成   日己や他者の   切らを関連づけながら、よりよい学級目標に	1	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的にみる りよい人間関係を構築で 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 で学習の在り方を自 りよい人間関係を構築で 学習の在り方を見る。 を放ったが、ま自分的 を対するとは好きだったが、れず、意を上していて、ためで、自分は、 を指すいるによったもで、まさせる。 「歌曲の魅力とは?」	ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考さまな、とめることができる。また、他己の考さまな、まためることができる。また、自己の手できる。 「一一枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをもったり、真実を求めて行動するとがあった。 「特別がようなできる。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「特別がようなと動するとがある。 「情別がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとなら、対象の自動にに気づき、読の内容を味わいながあら作品を表えると、「提供のことができる。」 「提がいるの治の姿をはおいながあられるとの情報を表えると、「表別によるとができる。」 「関題解決の手が、対象に対している。」 「関題解決の手が、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	夏季課題  具体化する・抽象化する  「爾の日の足降口」 夏季課題  参問的・多角的に見る 参問の大天子電影の切り版 きる、対路の間でに結 けた日本には、無無調のう とにも多いが生まれていた 定機を全を、この点に度 夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう とは金の世紀のかって と関係を全を、この点に度 夏季課題「合唱コンクールのクラス曲を紹介しよう 具体化する・抽象化する  具体化する・抽象化する  夏季課題「春夏秋冬を色で表そう」  具体化する・抽象化する  夏季課題  夏季課題  夏季課題  夏季課題  夏季課題  夏季課題  夏季課題  夏季課題  東体化する・抽象化する  はなどについて、自己のなどの発生要因、生活習慣と健康の関係を会とない、作業、運動を対象の表生要因。  ・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康の関係を会にして、い作業、運動を対象を発見した場合 ・という。またいのよどの大変、変えるとができまれて、ほのよどについて、「更加を対象のと思えて、関連に対すると発見した場合 ・という。またいのは、実施の表生のでは、対象の表えるとがであるとなどについて、「する、みる、支え ・選動やスポーツの多様性について、「する、みる、支え	学級活動 なぜ、わたしたもは飲くのだろう  関連付ける   関連付ける   関連付ける   動く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で	をとらえ マンキ (大きを) では、多いでは、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) ででから、 (大きな) でできるが、 (大きな) でできる。 (大きな) でできるが、 (大きな) できるが、 (大きな) できなが、 (大きな) できなが	は本化する・抽象化する  切させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。  回分の「ありがとう」」  列角的に見る の心にの者えきには、自覚であることを自覚であることをの構造でとのできる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する はと音楽の構造でどの宗さる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 対路について、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、と 生き方についての考えを深めること 多角的に見る	「学級活動 思いやりの気持ちを予てよう」 多面的・多角的にみる と自 問としての ができる。 思いやりの気持ちの大切さを認調し、多面的・多角的について考え、実践することができる。 にいちばん高い値段の絵」 あき角的に見る 多面的・多角的に見る 友達は、入生を置かけがえの格 取り組み、学校生 充実させるというから考えさせる。 にアルトリコーダーの魅力とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について多面的・多角的にみえ、意見やアドバイスを述べことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命自己を生命や自然、美しいもの、気をしようとしている。 「思いや意図を伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる。 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知道技能との関わりを理解し、曲にふさわしい伝える演奏をするためには? 多面的・多角的にみる。 「使いやすさと美しさを兼ねなく暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能とと美しさなを考しました。」 「使いやすさと美しさを兼ねなく暮らしの中の木材工芸にふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどをできる。 「使いながら表現することができる。 「自分の水土気をよりまぐするために、どのようによりまでまる。」「本業はおばまいだろうか。 多面的に見る・多角的に見る 作業において、設計図通りに完成するように、正確さや安全性に着目し、組立てるこができる。 「自分の水土気をよりまくするために、どのようにより、無理なればまいだろうか。 多面的・多角的にとらえ、実践を評価・改善することができる。 「自分の水土気をよりまくするために、どのようによくできる。 「自分の水土気をよりまくするために、どのようによる。今所にとらえ、実践を評価・改善することができる。」 「本の関連を通していた。「本の水土気をよりを育めにより、相手を発していまする」と、「大きないできる。 、ペパギントンを対視、観客、質別から意味のナイントの意味していまする」と、「人一人の意味」と「は吹したけ、作儀文化について過ずのによりないます」といまする。	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     「思いが伝わる表現とは?	タ面的・多角的にみる 自分にふさ (えることが を
<ul> <li>資質・能力</li> <li>道徳</li> <li>思考操作</li> <li>資質・能力</li> <li>音楽</li> <li>思考操作</li> <li>資質・能力</li> <li>基準</li> <li>思考操作</li> <li>資質・能力</li> <li>基準</li> <li>取書</li> <li>取書</li> <li>取書</li> <li>なができる。</li> <li>技術</li> <li>思考(企)</li> <li>なのとといてのながるのでの共通いとなができる。</li> <li>技術</li> <li>思考(作品を元に実験)</li> <li>なができる。</li> <li>なができる。</li> <li>現代</li> <li>保健体</li> <li>関質・能力</li> <li>保健体</li> <li>保健体</li> <li>関質・能力</li> <li>保健体</li> <li>関質・能力</li> </ul>	国連付ける・構造化する   関連付ける・構造化する   関連付ける・構造化する   関連付ける・成   関連付ける・成   関連付ける・成   日己や他者の   切らを関連づけながら、よりよい学級目標に	「子殿   「子殿   「	面的・多角的にみる 良さを多面的・多角的にみる りよい人間関係を構築で 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 学ぶ意義を具体化は、 で学習の在り方を自 りよい人間関係を構築で 学習の在り方を見る。 を放ったが、ま自分的 を対するとは好きだったが、れず、意を上していて、ためで、自分は、 を指すいるによったもで、まさせる。 「歌曲の魅力とは?」	ま、わたしたちが学ぶこと」  ②体化する・抽象化する として捉え、将来を見通して自己の生き方に考さまな、とめることができる。また、他己の考さまな、まためることができる。また、自己の手できる。 「一一枚の天気図」  多面的・多角的に見る にをもったり、真実を求めて行動するとがあった。 「特別がようなできる。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「一一枚の天気図」  多面のである。 「特別がようなと動するとがある。 「情別がイメージできる音楽表現とは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとは?」「主旋律と副旋律の表現の違いとなら、対象の自動にに気づき、読の内容を味わいながあら作品を表えると、「提供のことができる。」 「提がいるの治の姿をはおいながあられるとの情報を表えると、「表別によるとができる。」 「関題解決の手が、対象に対している。」 「関題解決の手が、対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	夏季課題  具体化する・抽象化する  「下の日の昇降口」 夏季課題  多所的・多角的に見る を	学級活動 なぜ、わたしたもは飲くのだろう  関連付ける   関連付ける   関連付ける   動く意義について、他者との交流を通して、働くことの目的や意義で	をとらえ マンキ (大きを) では、多いでは、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) では、 (大きな) ででから、 (大きな) でできるが、 (大きな) でできる。 (大きな) でできるが、 (大きな) できるが、 (大きな) できなが、 (大きな) できなが	は本化する・抽象化する  切させるために、具体的なスローガ 様な他者と協働する集団活動の意義 ができる。  回分の「ありがとう」」  列角的に見る の心にの者えきには、自覚であることを自覚であることをの構造でとのできる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  比較する はと音楽の構造でどの宗さる。  「日本のうたの魅力を探ろう」  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「学級活動 中学校卒業後の自分を考 関連付ける・構造化する 対路について、各高校の求める生徒、分の適性などを関連づけながら、と 生き方についての考えを深めること 多角的に見る	「学級活動 思いやりの気持ちを予てよう」 多面的・多角的にみる と自 問としての ができる。 思いやりの気持ちの大切さを認調し、多面的・多角的について考え、実践することができる。 にいちばん高い値段の絵」 あき角的に見る 多面的・多角的に見る 友達は、入生を置かけがえの格 取り組み、学校生 充実させるというから考えさせる。 にアルトリコーダーの魅力とは?」	本	「学級活動 自分を見つめ直そう」 多面的・多角的にみる 相手の個性や個性が発揮できる役割や場について 多面的・多角的に考え、意見やアドバイスを述べ ことで、自分自身についても考えることができる 「D 生命 自己を生命や自然、美しいもの、気 としての自覚を深めるためには? 多面的・多角的にみる 発表会で演奏する曲について、音楽表現に関わる知識技能との関わりを理解し、由にふさわしい音楽表現を関わる知識技能との関わりを理解し、由にふさわしい音楽表現を選えるとともに、自分なりの思いや意図を伝える演奏を るように表現の工夫をすることができる。 「使いやすさと美しさを兼ねばく暮らしの中の木材工芸に、ふれ、木肌のき、用途や機能と美しさなどを考え切に使いながら表現することができる。 「使いながら表現することができる。 「自分なりはながら表現することができる。 「自分なりに使いながら表現することができる。 「自分な生に着目し、組立てることができる。 「自分な生に着目し、組立てることができる。 「自分な生はきよりよくするために、どのように、正確さや安全性に着目し、組立てることができる。 「自分な生はをよりよくするために、どのように、方の対しにながら身にし、記録目のように、できる。 「自分な生はをよりよくするために、どのようによってきる。」「本版できる。 「自分な生はをよりよくするために、どのようによってきる。」「本版できる。 「自分な生はをよりまくするとなどのように、と、一人、人のよりにはないら身につけ、相手を専員すること、一人、人のよりにはないら身につけ、相手を専員すること、一人、人のよりにはながら身につけ、相手を専員である。、「本版文化についてはないら身につけ、相手を専員であることができる。」 「本版文化についてはないながら身につけ、相手を専員であることができる。」 「本版文表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	多面的・多角的にみる 、 自分の良さや個性を多面的に捉え、     おしい生き方や職業を関連付けて考。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     できる。     「思いが伝わる表現とは?	2 年生になる自分   多面的・多角的にみる   自分にふさ   信えることが   空間的にある   自分に表さ   空間のによることができる。   1年間の様別減り   1年間の番号ができる。   1年間の番号が   1年間の番号ができる。   1年間の最近の高級の集性などの音楽を動きができる。   1年間の最近の高級の場性などの音楽を動きができる。   1年間の最近のカナンには、